
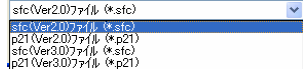
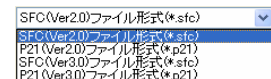
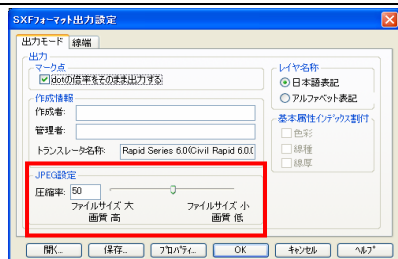
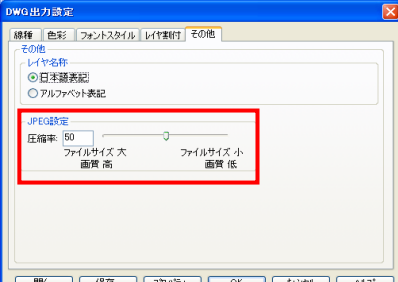
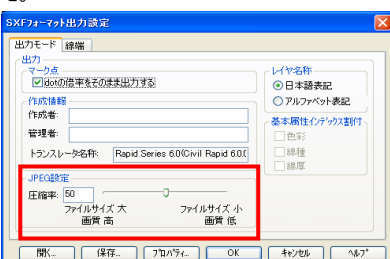
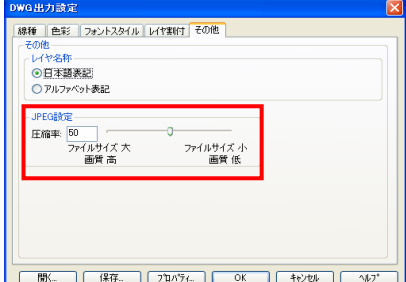


# Rapid シリーズ Ver6.0 追加機能一覧

Civil Rapid Rapid Draw Plus Rapid Draw Pipe Rapid

追加機能概要	分類	内容
<b>【SXF入力】コマンドの機能追加</b>		
書き込み禁止メディア内(CDなど)のSXFデータの読み込みを可能にしました。	SXF入力機能	【ファイル入力】-【SXF入力】コマンドで、入力ファイルが書き込み禁止メディア(CDなど)に存在し、エラーログの書き込みが出来ない場合は、【設定】-【環境設定】コマンドの【ファイル】ページ内の【外部データ】で設定されているフォルダに書き込みを行う機能を追加しました。
SXF Ver3.0 の入力機能を追加しました。	SXF入力機能	【ファイル入力】-【SXF入力】時に、SXF Ver3.0 のデータを入力可能にしました。
<b>【SXF出力】・【DWG出力】・【一括出力】コマンドの機能追加</b>		
【SXF出力】、【DWG出力】および【一括出力】時に、ラスタデータを設定した出力ファイル名により出力処理を行う機能を追加しました。 	SXF出力機能	【ファイル】-【ファイル出力】-【SXF出力】時に、【ツール】-【ラスタ編集】-【ラスタ情報編集】コマンドにより設定されたファイル名により、全てのタイプ(『埋め込み』および『リンク』)のラスタデータを出力可能にしました。
	DWG出力機能	【ファイル】-【ファイル出力】-【DWG出力】時に、【ツール】-【ラスタ編集】-【ラスタ情報編集】コマンドにより設定されたファイル名により、全てのタイプ(『埋め込み』および『リンク』)のラスタデータを出力可能にしました。
	一括出力機能	【ファイル】-【ファイル出力】-【一括出力】コマンドでのSXF出力時に、【ツール】-【ラスタ編集】-【ラスタ情報編集】コマンドにより設定されたファイル名により、全てのタイプ(『埋め込み』および『リンク』)のラスタデータを出力可能にしました。
【SXF出力】および【一括出力】時に、SXF Ver3.0 の出力機能を追加しました。	SXF出力機能	【ファイル】-【ファイル出力】-【SXF出力】コマンドで、【名前を付けて保存】ダイアログの【ファイルの種類】コンボボックスに、出力形式として【sfc(Ver3.0)ファイル(*.sfc)】および【p21(Ver3.0)ファイル(*.p21)】を追加しました。 またこれに伴い、同コンボボックスの【sfc ファイル(*.sfc)】および【p21 ファイル(*.p21)】を【sfc(Ver2.0)ファイル(*.sfc)】および【p21(Ver2.0)ファイル(*.p21)】に変更しました。 
	一括出力機能	【ファイル】-【ファイル出力】-【一括出力】コマンドで、【ファイル出力】ダイアログの【出力ファイルの種類】コンボボックスに、出力形式として【SFC(Ver3.0)ファイル形式(*.sfc)】および【P21(Ver3.0)ファイル形式(*.p21)】を追加しました。 またこれに伴い、同コンボボックスの【SFC ファイル形式(*.sfc)】および【P21 ファイル形式(*.p21)】を【SFC(Ver2.0)ファイル形式(*.sfc)】および【P21(Ver2.0)ファイル形式(*.p21)】に変更しました。 
【SXF出力】、【DWG出力】および【一括出力】時に、埋めこみタイプのラスタを JPEG ファイルとして出力するための画質設定を追加しました。	SXF出力時のラスタ画質の設定	SXF Ver3.0 形式で出力の際、【ファイル】-【ファイル出力】-【SXF出力】コマンドの【設定】ボタンにより表示される【SXF フォーマット出力設定】ダイアログの【出カモード】ページに、埋めこみラスタタイプの 1bit(白黒)以外のデータを JPEG ファイルとして出力するための画質設定を追加しました。 
	DWG出力時のラスタ画質の設定	DWG 形式で出力の際、【ファイル】-【ファイル出力】-【DWG 出力】コマンドの【設定】ボタンにより表示される【DWG 出力設定】ダイアログの【その他】ページに、埋めこみラスタタイプの 1bit(白黒)以外のデータを JPEG ファイルとして出力するための画質設定を追加しました。 
	一括出力時のラスタ画質の設定	【ファイル】-【ファイル出力】-【一括出力】コマンドの【ファイル出力】ダイアログの【出力ファイルの種類】コンボボックスで、SXF Ver3.0 形式および DWG 形式を選択し、右の【設定】ボタンにより表示される【SXF フォーマット出力設定】ダイアログの【出カモード】ページ、および【DWG 出力設定】ダイアログの【その他】ページに、埋めこみラスタタイプの 1bit(白黒)以外のデータを JPEG ファイルとして出力するための画質設定を追加しました。  

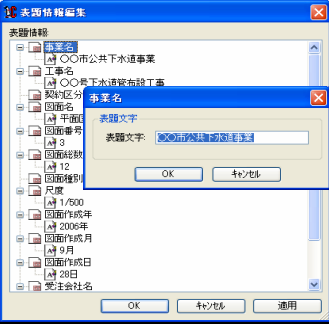
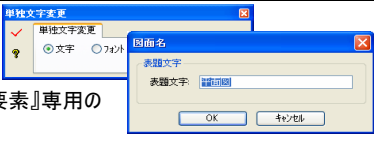
# Rapid シリーズ Ver6.0 追加機能一覧

Civil Rapid Rapid Draw Plus Rapid Draw Pipe Rapid

追加機能概要	分類	内容
【ファイル一括変換】コマンドの機能追加 ※Civil Rapid Rapid Draw Plus Rapid Draw の機能追加 (Pipe Rapid は対象外)		
書き込み禁止メディア内(CDなど)のSXFデータの読み込みを可能にしました。	SXF入力機能	【ファイル】-【ファイル一括変換】コマンドで、入力ファイルが書き込み禁止メディア(CDなど)に存在し、エラーログの書き込みが出来ない場合は、【設定】-【環境設定】コマンドの【ファイル】ページ内の【外部データ】で設定されているフォルダに書き込みを行う機能を追加しました。
SXF Ver3.0 の入力機能を追加しました。	SXF入力機能	【ファイル】-【ファイル一括変換】コマンドの【入力ファイルの種類】として、SXF Ver3.0 のデータを入力可能にしました。
出力ファイルの種類が『SXF』、『DWG』の時に、ラスタデータを設定した出力ファイル名により出力処理を行う機能を追加しました。	SXF出力機能	【ファイル】-【ファイル一括変換】コマンドでのSXFファイル出力時に、【ツール】-【ラスタ編集】-【ラスタ情報編集】コマンドにより設定されたファイル名により、全てのタイプ(『埋め込み』および『リンク』)のラスタデータを出力可能にしました。
	DWG出力機能	【ファイル】-【ファイル一括変換】コマンドでのDWGファイル出力時に、【ツール】-【ラスタ編集】-【ラスタ情報編集】コマンドにより設定されたファイル名により、全てのタイプ(『埋め込み』および『リンク』)のラスタデータを出力可能にしました。
SXFファイル出力時に、SXF Ver3.0 の出力機能を追加しました。	SXF出力機能	【ファイル】-【ファイル一括変換】コマンドで、【ファイル変換】ダイアログの【出力ファイルの種類】コンボボックスに、出力形式として【SFC(Ver3.0)ファイル形式(*.sfc)】および【P21(Ver3.0)ファイル形式(*.p21)】を追加しました。 またこれに伴い、同コンボボックスの【SFC ファイル形式(*.sfc)】および【P21 ファイル形式(*.p21)】を【SFC(Ver2.0)ファイル形式(*.sfc)】および【P21(Ver2.0)ファイル形式(*.p21)】に変更しました。
出力ファイルの種類が SXF Ver3.0 形式および DWG 形式の時に、埋めこみタイプのラスタを JPEG ファイルとして出力するための画質設定を追加しました。	SXF 出力時のラスタ画質の設定	【ファイル】-【ファイル一括変換】コマンドで、【ファイル変換】ダイアログの【出力ファイルの種類】コンボボックスで SXF Ver3.0 形式を選択し、右の【設定】ボタンにより表示される【SXF フォーマット出力設定】ダイアログの【出力モード】ページに、埋めこみラスタタイプの 1bit(白黒)以外のデータを JPEG ファイルとして出力するための画質設定を追加しました。
	DWG 出力時のラスタ画質の設定	【ファイル】-【ファイル一括変換】コマンドで、【ファイル変換】ダイアログの【出力ファイルの種類】コンボボックスで DWG 形式を選択し、右の【設定】ボタンにより表示される【DWG 出力設定】ダイアログの【その他】ページに、埋めこみラスタタイプの 1bit(白黒)以外のデータを JPEG ファイルとして出力するための画質設定を追加しました。
図面背景色の機能変更		
図面の背景色を SXF Ver3.0 仕様に従った機能に変更しました。	図面背景色保持の設定	設定された図面の背景色に関する設定値は、他の設定値(色彩・線種・線厚・属性テンプレート)と同様に図面単位で保持をし、図面データ(Dob)内に保存される。 背景色は、【設定】-【基本属性設定】コマンドの【その他】ページに、【図面に背景色を設定する】チェックボックスおよび【図面の背景色】ボタンにより設定されるようになりました。
	SXF入力機能	SXF Ver3 属性付加機構により、背景色の属性セットがされた用紙上に配置している『既定義ハッチング』の『Area_control』のハッチングフィーチャーを SXF 入力する場合、基本属性の図面の背景色として読み込まれるようになりました。
	SXF出力機能	図面の背景色を SXF 出力する場合、SXF Ver3.0 仕様の出力の場合のみ『既定義ハッチング』の『Area_control』に SFX Ver3 属性付加機構による背景色の属性セットを付与し、背景色属性の出力を行う。SXF Ver2.0 仕様の出力の場合は、背景色属性の出力が省略されるようになりました。

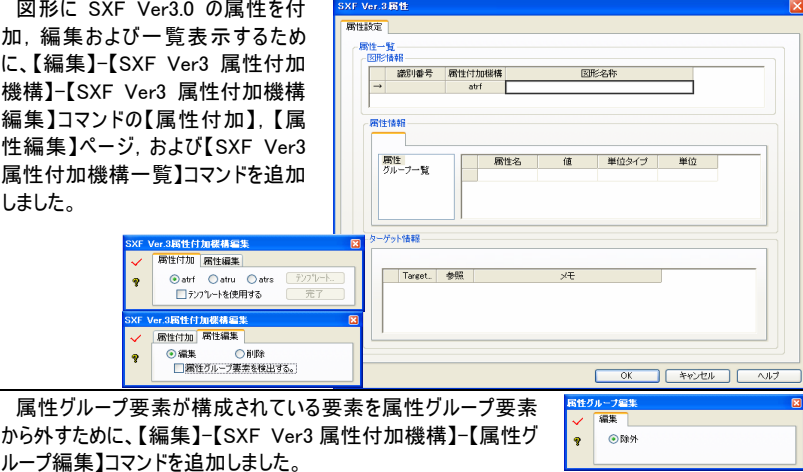
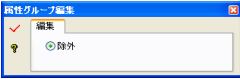
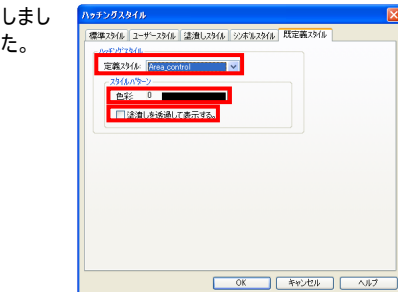
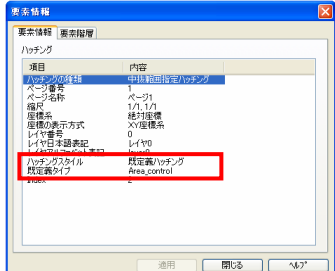

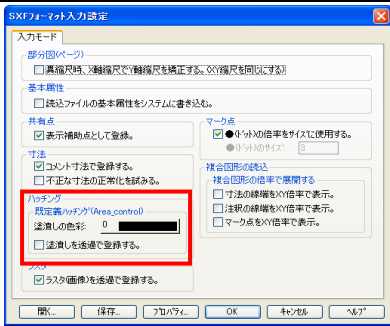
# Rapid シリーズ Ver6.0 追加機能一覧

Civil Rapid Rapid Draw Plus Rapid Draw Pipe Rapid

追加機能概要	分類	内容
<b>図面表題欄の機能追加 ※【標高点作成】コマンドは Pipe Rapid の機能 (Civil Rapid Rapid Draw Plus Rapid Draw は対象外)</b>		
<p>SXF Ver3.0 対応の表題欄情報を図面に設定可能にしました。</p> <p>『表題欄フィーチャ』として次の表題欄項目を図面内に保持できるようにしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業名</li> <li>・工事名</li> <li>・契約区分</li> <li>・図面名</li> <li>・図面番号</li> <li>・図面総数</li> <li>・図面種別</li> <li>・尺度</li> <li>・図面作成年</li> <li>・図面作成月</li> <li>・図面作成日</li> <li>・受注会社名</li> </ul>	<p>図面情報表示</p>	<p>【ツール】-【図面情報】コマンド内のダイアログに、【表題情報】ページを追加し、図面に設定されている SXF Ver3.0 対応の表題欄情報を表示できるようにしました。</p> 
<p>表題情報作成機能</p>	<p>表題情報作成機能</p>	<p>【ツール】-【表題情報作成】コマンドにより、SXF Ver3.0 対応の表題欄の属性情報を付加した文字要素 (表題欄要素) の作成を可能にしました。</p> 
<p>表題情報編集機能</p>	<p>表題情報編集機能</p>	<p>【ツール】-【表題情報編集】コマンドにより、図面に設定されている SXF Ver3.0 対応の表題欄情報を作成または変更できるようにしました。</p> <p>【図面情報】コマンド内の【表題情報】ページでは表題欄情報の表示のみを行うが、【表題情報編集】コマンドでは、『表題欄フィーチャ』にのみ設定されている情報項目の設定値の追加および変更、『表題欄要素』として登録されている情報の設定値の変更が行えるようになりました。</p> 
<p>【単独文字変更】コマンドの変更</p>	<p>【単独文字変更】コマンドの変更</p>	<p>既存の【編集】-【文字編集】-【単独文字変更】コマンド内の【文字】モードによる処理で、指定した文字要素が『表題欄要素』として登録されている場合に、変更入力するダイアログを『表題欄要素』専用のダイアログにしました。</p> 
<p>【文字変更】コマンドの処理</p>	<p>【文字変更】コマンドの処理</p>	<p>既存の【編集】-【文字編集】-【文字変更】コマンド内の【文字変更】ページの【文字編集】モードによる【文字】ボタンの処理に対して、選択した文字列要素群内の『表題欄要素』に対して、変更処理の対象外としました。</p>
<p>【タイトル文字変更】コマンドの処理</p>	<p>【タイトル文字変更】コマンドの処理</p>	<p>既存の【編集】-【文字編集】-【タイトル文字変更】コマンドの対象要素から、『表題欄要素』として登録されている文字要素を対象外としました。</p>
<p>【要素情報】コマンドの変更</p>	<p>【要素情報】コマンドの変更</p>	<p>既存の【ツール】-【要素情報】コマンドの処理で、指定した文字要素が『表題欄要素』として登録されている場合に、文字列を変更入力するダイアログを『表題欄要素』専用のダイアログにしました。</p> 
<p>【標高点作成】コマンドの処理 ※Pipe Rapid のみ</p>	<p>【標高点作成】コマンドの処理 ※Pipe Rapid のみ</p>	<p>Pipe Rapid の既存の【路線平面系統】-【標高点】-【標高点作成】コマンドにおいて、【地盤高検出】チェックボックスにチェックが入っている場合に、指定する文字要素の対象から『表題欄要素』として登録されている文字要素を対象外としました。</p>

# Rapid シリーズ Ver6.0 追加機能一覧

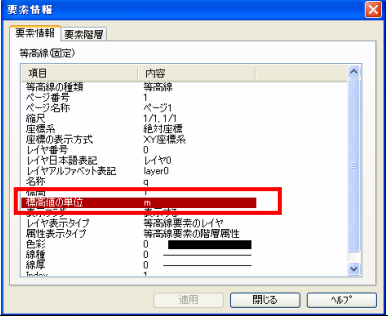
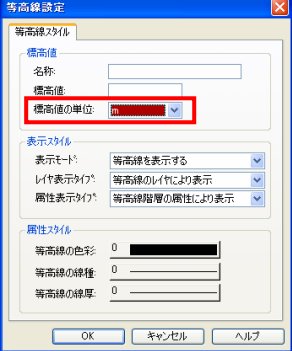
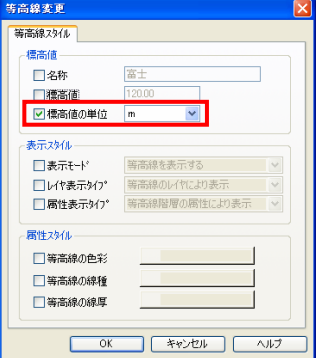
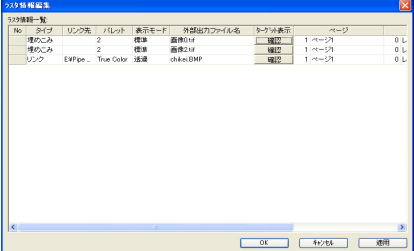
Civil Rapid Rapid Draw Plus Rapid Draw Pipe Rapid

追加機能概要	分類	内容
<b>【SXF Ver3.0 属性付加機構】コマンドの機能追加 ※Civil Rapid Rapid Draw Plus Rapid Drawの機能追加 (Pipe Rapid は対象外)</b>		
<p>SXF Ver3.0 属性付加機構である『属性ファイル用属性付加機構(ATRF)』『単一属性用属性付加機構(ATRU)』『文字フィーチャ用付加機構(ATRS)』について、属性付加、属性編集、一覧表示および属性グループ編集を行えるようにしました。</p>	<p>属性付加機能 属性編集機能 一覧表示機能</p>	<p>図形に SXF Ver3.0 の属性を付加、編集および一覧表示するために、【編集】-【SXF Ver3 属性付加機構】-【SXF Ver3 属性付加機構編集】コマンドの【属性付加】、【属性編集】ページ、および【SXF Ver3 属性付加機構一覧】コマンドを追加しました。</p> 
	<p>属性グループ編集機能</p>	<p>属性グループ要素が構成されている要素を属性グループ要素から外すために、【編集】-【SXF Ver3 属性付加機構】-【属性グループ編集】コマンドを追加しました。</p> 
<b>中抜範囲ハッチング要素の機能変更</b>		
<p>中抜範囲ハッチング要素内のハッチングスタイルに SXF Ver3.0 仕様に従った『既定義ハッチング』を追加しました。</p>	<p>ハッチングスタイルの追加 ハッチング要素の表示設定</p>	<p>【ハッチングスタイル】ダイアログ内に【既定義スタイル】ページを追加しました。塗潰し部分の描画処理は、【設定】-【環境設定】コマンドの【表示】ページの【既定義スタイル (Area.control)】の領域範囲を塗潰し表示する。】チェックボックスの設定値により描画されるようにしました。</p> 
	<p>要素情報表示</p>	<p>『既定義ハッチング』の『Area.control』タイプの中抜範囲ハッチング要素の要素情報を表示する場合、【既定義タイプ】が【ツール】-【要素情報】ページ内のリストビューに表示されるようにしました。</p> 
<p>境界要素作成機能 複合曲線スタイル設定</p>		<p>【作図】-【ハッチング】-【中抜ハッチング】ダイアログの操作パネル内に【範囲指定】ページを追加し、中抜範囲ハッチング要素の境界要素(複合曲線要素)を同時に作成する操作を追加し、【境界】ボタンを指定することにより、作成する中抜範囲ハッチング要素の境界要素(複合曲線要素)のスタイルを専用ダイアログ【複合曲線】により設定できるようにしました。</p> 
<p>SXF入力設定</p>		<p>ハッチングフィーチャ内の『既定義ハッチング』の『Area.control』を SXF 入力する場合、中抜きハッチング要素のハッチングスタイルを『既定義ハッチング』、既定義スタイルを『Area.control』として読み込みを行うようにしました。また、SXF の『既定義ハッチング』の『Area.control』フィーチャには、スタイルパターンの『色彩』および『塗潰しの透過条件』の設定項目が存在しない為、【ファイル入力】-【SXF 入力】時に【設定】ボタンを押して表示される【SXF フォーマット入力設定】により、『Area.control』フィーチャの入力時の『色彩』および『塗潰しの透過条件』を設定するようになりました。</p> 
<p>SXF出力機能</p>		<p>ハッチングスタイルが『既定義ハッチング』、既定義スタイルが『Area.control』で登録されている中抜きハッチング要素を SXF 出力する場合、SXF Ver3.0 仕様の出力の場合のみ、ハッチングフィーチャの『既定義ハッチング』の『Area.control』として出力を行い、SXF Ver2.0 仕様の出力の場合は、該当の要素の出力を省略するようになりました。</p>



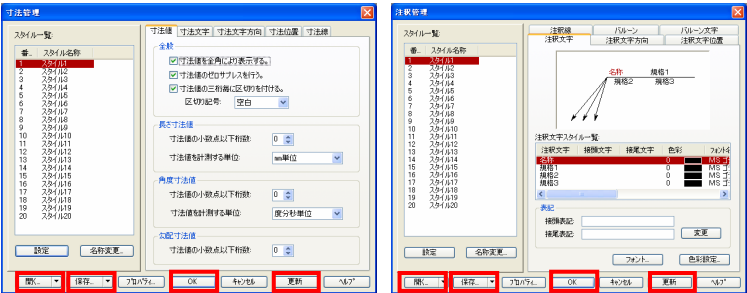
# Rapid シリーズ Ver6.0 追加機能一覧

Civil Rapid Rapid Draw Plus Rapid Draw Pipe Rapid

追加機能概要	分類	内容
<b>等高線要素の機能変更</b>		
<p>等高線要素を SXF Ver3.0 仕様に従った要素に変更しました。</p> <p>前バージョンでは『標高値』として m 単位固定の数値を保持していたが、属性タイプが『LEN』に対応した単位による数値とし、その数値に対しての単位 [m]・[km]・[cm]・[mm]・[um]・[nm]・[pm]・[fm]を保持をするようにしました。</p>	要素情報表示	<p>等高線要素の標高値の単位を【ツール】-【要素情報】ページ内のリストビューに表示するようになりました。</p> 
	標高値単位の保持機能	<p>【作図】-【等高線】コマンドにより等高線要素を作成する場合、標高値の単位の設定項目を【等高線設定】ダイアログの【等高線スタイル】ページ内に追加しました。</p> 
	標高値単位の変更機能	<p>【編集】-【変更】-【等高線変更】コマンドにより等高線要素を変更する場合、標高値の単位の変更項目を【等高線変更】ダイアログの【等高線スタイル】ページ内に追加しました。</p> 
SXF入力機能		等高線フィーチャーを SXF 入力する場合、SXF Ver3.0 仕様および SXF Ver2.0 仕様の等高線フィーチャーに対応し、拡張した等高線要素に読み込みを行うようになりました。
SXF出力機能		等高線要素を SXF 出力する場合、SXF Ver3.0 仕様および SXF Ver2.0 仕様の等高線フィーチャーに対応し、拡張した等高線要素の出力を行うようになりました。
<b>【ラスタ情報編集】機能の追加</b>		
<p>【ラスタ情報一覧】ダイアログ内により、図面内のラスタ要素を一覧表示し、ラスタの透過条件、外部出力する場合のファイル名を設定する機能を追加しました。</p>	ラスタ情報編集機能	<p>【ツール】-【ラスタ編集】-【ラスタ情報編集】コマンドで、【ラスタ情報一覧】グリッドに図面内のラスタ要素を一覧表示し、【タイプ】(リンク・埋め込み)、【リンク先】(タイプがリンクのみ)、【表示モード】(標準・透過)、【外部出力ファイル名】、【ページ番号および名称】および【レイヤ番号および名称】を表示できるようにしました。</p> 
<b>【色の設定】ダイアログでの作成した色の保持</b>		
<p>【基本属性】コマンドの【背景色】および【環境設定】コマンドの作図画面などの色彩などの設定で使用する【色の設定】ダイアログに於いて、【作成した色】の設定値をCADシステム起動時でも保持できる機能を追加しました。</p>	作成色の保持機能	設定値は図面単位で管理をするのではなく、CADシステム(ユーザー単位)で管理するものとし、設定値を所定のフォルダに登録し、再起動時にも有効にしました。また再インストールおよびバージョンアップ時にも有効にしました。



# Rapid シリーズ Ver6.0 追加機能一覧

Civil Rapid Rapid Draw Plus Rapid Draw Pipe Rapid

追加機能概要	分類	内容
<b>【寸法管理】および【注釈管理】の設定保持機能の変更</b>		
<p>図面毎に【寸法管理】および【注釈管理】を設定可能にし、図面データ(Dob)内に保存できるように変更し、また、同様にワークスペースファイル(Prp)内にも保存できるように変更しました。</p>	<p>【寸法管理】および【注釈管理】の設定保持機能</p>	<p>【寸法管理】(寸法値・寸法文字・寸法方向文字・寸法位置・寸法線)および【注釈管理】(注釈文字・注釈文字方向・注釈文字位置・注釈線・バルーン・バルーン文字)の機能の追加により、違うパソコン間でデータを共有または受渡しを行っても、【寸法管理】および【注釈管理】は同じになる。また、システムを再インストール後に図面を開いても同じ【寸法管理】および【注釈管理】になるようにしました。</p> 
<b>【寸法修正】コマンドの機能追加</b>		
<p>【作図】-【寸法】-【寸法修正】コマンドで、ユーザーグループまたは専用グループ(加工図および任意加工図など)内の寸法要素の修正を行う機能を追加しました。</p>	<p>【寸法線】-【連段】</p>	<p>【寸法線】-【連段】モードにより修正する基準要素および寸法要素の指定時に、専用グループ(加工図および任意加工図など)内の寸法要素を指定可能とし、寸法線の連段の処理を可能にしました。</p>
	<p>【引出線】-【方向】</p>	<p>【寸法線】-【連段】モードにより修正する寸法要素の指定時に、専用グループ(加工図および任意加工図など)内の寸法要素を指定可能とし、引出線の方向の処理を可能にしました。</p>
	<p>【寸法文字】-【段編集】</p>	<p>【寸法線】-【連段】モードにより修正する寸法要素の指定時に、専用グループ(加工図および任意加工図など)内の寸法要素を指定可能とし、寸法文字の段編集の処理を可能にしました。</p>
	<p>【注釈線】-【表示/非表示】</p>	<p>【寸法線】-【連段】モードにより修正する寸法要素の指定時に、ユーザーグループまたは専用グループ(加工図および任意加工図など)内の寸法要素を指定可能とし、注釈線の表示/非表示の処理を可能にしました。</p>
	<p>【注釈線】-【引出位置編集】</p>	<p>【寸法線】-【連段】モードにより修正する寸法要素の指定時に、ユーザーグループまたは専用グループ(加工図および任意加工図など)内の寸法要素を指定可能とし、注釈線の引出位置の編集処理を可能にしました。</p>
<p>【作図】-【寸法】-【寸法修正】コマンドで、【寸法文字】-【文字編集】モードにより、寸法文字タイプが【標準寸法】タイプ以外に設定されている寸法要素を、【標準寸法】タイプに寸法文字タイプを変更可能にしました。</p>	<p>寸法文字タイプ変更機能</p>	<p>寸法文字タイプが【標準寸法】タイプ以外に設定されている寸法要素の場合でも、【寸法文字】-【寸法文字編集】ダイアログの【寸法文字タイプ】ラジオボタングループ内の【標準寸法】ラジオボタンをアクティブ状態(有効)にし、【標準寸法】タイプに寸法文字タイプを変更可能にしました。</p>
<b>【寸法変更】コマンドの機能追加</b>		
<p>【作図】-【寸法】-【寸法変更】コマンドで、【寸法文字】-【文字編集】モードにより、寸法文字タイプが【標準寸法】タイプ以外に設定されている寸法要素を、【標準寸法】タイプに寸法文字タイプを変更可能にしました。</p>	<p>寸法文字タイプ変更機能</p>	<p>寸法文字タイプが【標準寸法】タイプ以外に設定されている寸法要素の場合でも、【寸法文字】-【寸法文字編集】ダイアログの【寸法文字タイプ】ラジオボタングループ内の【標準寸法】ラジオボタンをアクティブ状態(有効)にし、【標準寸法】タイプに寸法文字タイプを変更可能にしました。</p>
<b>【注釈修正】コマンドの機能追加</b>		
<p>【作図】-【注釈】-【注釈修正】コマンドで、ユーザーグループ内の注釈要素の修正を行う機能を追加しました。</p>	<p>【引出線】-【追加】</p>	<p>【引出線】-【追加】モードにより修正する注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の注釈要素を指定可能とし、引出線の追加の処理を可能にしました。</p>
	<p>【引出線】-【変更】</p>	<p>【引出線】-【変更】モードにより修正する注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の注釈要素を指定可能とし、引出線の引出位置の変更の処理を可能にしました。</p>
	<p>【引出線】-【削除】</p>	<p>【引出線】-【変更】モードにより修正する注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の注釈要素を指定可能とし、引出線の削除の処理を可能にしました。</p>
	<p>【引出線】-【引出方向】</p>	<p>【引出線】-【変更】モードにより修正する注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の注釈要素を指定可能とし、引出線の引出方向の変更の処理を可能にしました。</p>
	<p>【補助線】-【追加】</p>	<p>【補助線】-【追加】モードにより修正する注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の注釈要素を指定可能とし、補助線の折れ点の追加処理を可能にしました。</p>
	<p>【補助線】-【変更】</p>	<p>【補助線】-【変更】モードにより修正する注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の注釈要素を指定可能とし、補助線の折れ点の変更処理を可能にしました。</p>
	<p>【補助線】-【削除】</p>	<p>【補助線】-【変更】モードにより修正する注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の注釈要素を指定可能とし、補助線の折れ点の削除処理を可能にしました。</p>
	<p>【補助線】-【補助線方向】</p>	<p>【補助線】-【変更】モードにより修正する注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の注釈要素を指定可能とし、補助線の方向の変更処理を可能にしました。</p>
	<p>【注釈】-【注釈文字】</p>	<p>【注釈】-【注釈文字】モードにより修正する注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の注釈要素を指定可能とし、注釈の文字の変更処理を可能にしました。</p>
	<p>【注釈】-【注釈方向】</p>	<p>【注釈】-【注釈方向】モードにより修正する注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の注釈要素を指定可能とし、注釈の文字方向の変更処理を可能にしました。</p>

# Rapid シリーズ Ver6.0 追加機能一覧

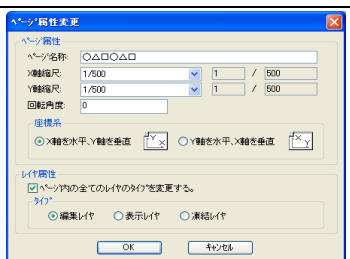
Civil Rapid Rapid Draw Plus Rapid Draw Pipe Rapid

追加機能概要	分類	内容
<b>【注釈変更】コマンドの機能追加</b>		
【作図】-【注釈】-【注釈修正】コマンドで、ユーザーグループ内の注釈要素の修正を行う機能を追加しました。	【アンダーライン】-【通過点指定】	【アンダーライン】-【通過点指定】モードにより修正する注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の注釈要素を指定可能とし、アンダーラインの終点位置の変更の処理を可能にしました。
	【アンダーライン】-【長さ指定】	【アンダーライン】-【通過点指定】モードにより修正する注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の注釈要素を指定可能とし、アンダーラインの終点位置の変更の処理を可能にしました。
	【注釈文字】-【文字移動】	【アンダーライン】-【長さ指定】モードにより修正する注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の注釈要素を指定可能とし、注釈の文字の移動処理を可能にしました。
<b>【鉄筋注釈修正】コマンドの機能追加</b>		
【配筋加工図】-【鉄筋注釈】-【鉄筋注釈修正】コマンドで、ユーザーグループ内の鉄筋注釈要素の修正を行う機能を追加しました。	【引出線】-【追加】	【引出線】-【追加】モードにより修正する鉄筋注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の鉄筋注釈要素を指定可能とし、引出線の追加の処理を可能にしました。
	【引出線】-【変更】	【引出線】-【変更】モードにより修正する鉄筋注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の鉄筋注釈要素を指定可能とし、引出線の引出位置の変更の処理を可能にしました。
	【引出線】-【削除】	【引出線】-【変更】モードにより修正する鉄筋注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の鉄筋注釈要素を指定可能とし、引出線の削除の処理を可能にしました。
	【引出線】-【引出方向】	【引出線】-【変更】モードにより修正する鉄筋注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の鉄筋注釈要素を指定可能とし、引出線の引出方向の変更の処理を可能にしました。
	【補助線】-【追加】	【補助線】-【追加】モードにより修正する鉄筋注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の鉄筋注釈要素を指定可能とし、補助線の折れ点の追加処理を可能にしました。
	【補助線】-【変更】	【補助線】-【変更】モードにより修正する鉄筋注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の鉄筋注釈要素を指定可能とし、補助線の折れ点の変更処理を可能にしました。
	【補助線】-【削除】	【補助線】-【変更】モードにより修正する鉄筋注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の鉄筋注釈要素を指定可能とし、補助線の折れ点の削除処理を可能にしました。
	【補助線】-【補助線方向】	【補助線】-【変更】モードにより修正する鉄筋注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の鉄筋注釈要素を指定可能とし、補助線の方向の変更処理を可能にしました。
	【注釈】-【注釈文字】	【注釈】-【注釈文字】モードにより修正する鉄筋注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の鉄筋注釈要素を指定可能とし、注釈の文字の変更処理を可能にしました。
	【注釈】-【注釈方向】	【注釈】-【注釈方向】モードにより修正する鉄筋注釈要素の指定時に、ユーザーグループ内の鉄筋注釈要素を指定可能とし、注釈の文字方向の変更処理を可能にしました。
<b>検索属性スタイルの追加</b>		
【移動】や【削除】などのコマンド使用時の【属性検索】に【要素スタイル】ページを追加し、補助線や有限線などを対象要素としてフィルタ検索を行う機能を追加しました。	属性フィルタ検索機能	<p>対象コマンド</p> <p>【編集】-【移動】-【移動】、【中抜き移動】</p> <p>【編集】-【複写】-【複写】、【連続複写】、【中抜き複写】</p> <p>【編集】-【削除】-【削除】、【中抜き削除】、【トリミング】</p> <p>【編集】-【パラメトリック】-【要素移動】</p> <p>【編集】-【変更】-【属性変更】、【中抜き属性変更】</p> <p>【編集】-【要素分解】</p> <p>【編集】-【グループ】-【グループ作成】</p> <p>【編集】-【オプション属性】-【オプション属性付加】</p> <p>【編集】-【複合図形】-【複合図形作成】</p> <p>【作図】-【ハッチング】-【ハッチング】</p> <p>【作図】-【部品】-【部品保存】</p> <p>【配筋加工図】-【展開図】-【任意展開図】</p> <p>【配筋加工図】-【継手処理】、【開口処理】</p> <p>【配筋加工図】-【鉄筋注釈】-【鉄筋注釈】</p> <p>【ツール】-【記号】-【切断記号】</p> <p>【路線平面系統図】-【区画割】-【区画割作成】</p> <p>【路線平面系統図】-【路線横断】-【横断図登録】</p>
<b>コマンド操作パネルでの【DEL】キー処理の対応</b>		
<p>各操作パネルのコンボボックスまたはエディットボックス入力時での【DEL】キーの処理を有効にしました。</p> 	コマンド操作パネル	各コマンド起動時での操作パネル内のエディットボックスおよびコンボボックス入力時の【DEL】キーの処理を有効にしました。
	【XYスナップ】	点の検出の【XYスナップ】時での【XYスナップ設定】ダイアログ内のコンボボックス入力時の【DEL】キーの処理を有効にしました。
	【距離スナップ】	点の検出の【距離スナップ】時での【距離スナップ設定】ダイアログ内のコンボボックス入力時の【DEL】キーの処理を有効にしました。
	【自動スナップ】	自動スナップの座標入力モード時での【座標入力】ダイアログ内のエディットボックス入力時の【DEL】キーの処理を有効にしました。
	【編集】-【クリア】	【編集】-【クリア】コマンドの【DEL】キーによる処理は、上記以外の場合のみ有効にしました。
<b>【削除】操作の簡略化</b>		
削除動作を完了する場合のオペレーションを簡略化しました。	削除操作	<p>対象要素指定後に【削除】ページに移行し、【完了】ボタンを指定する事により完了していた削除操作を、【完了】ボタンを【要素指定】ページに移動し、【削除】ページへの移行操作を排除することにより、オペレーションを簡略化しました。</p> 

# Rapid シリーズ Ver6.0 追加機能一覧

Civil Rapid Rapid Draw Plus Rapid Draw Pipe Rapid

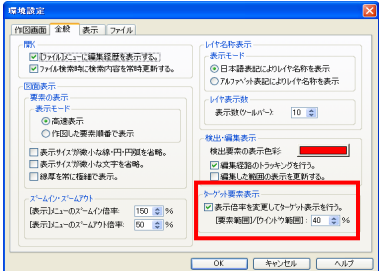
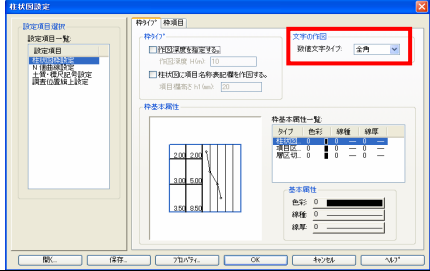
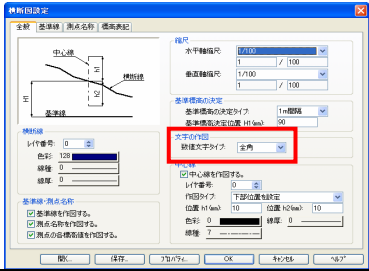
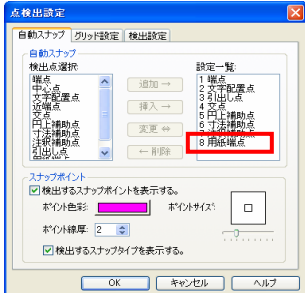
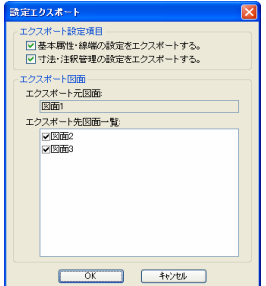
追加機能概要	分類	内容
<b>【Back space】キー処理の対応</b>		
【Back Space】キーによる、指定点・指定要素の解除を可能にしました。	【Back Space】キー処理機能	次点や次要素の指定時に【Back space】キーを指定する事により、指定した後方の点や要素から解除し、再度、点や要素を指定できる機能を追加しました。
<b>ダイレクトキーコマンドの対応</b>		
ダイレクトキーによるコマンド内の各モードの自動起動を可能にしました。	【L】キー	【作図】-【線分】-【有限】-【自由】モードを自動起動し、自由線の作図を可能にしました。
	【H】キー	【作図】-【線分】-【有限】-【水平】モードを自動起動し、水平線の作図を可能にしました。
	【V】キー	【作図】-【線分】-【有限】-【垂直】モードを自動起動し、垂直線の作図を可能にしました。
	【P】キー	【作図】-【線分】-【有限】-【平行】モードを自動起動し、平行線の作図を可能にしました。
	【A】キー	【作図】-【線分】-【有限】-【角度】モードを自動起動し、角度線の作図を可能にしました。
	【C】キー	【作図】-【円】-【円】-【中心】モードを自動起動し、円の作図を可能にしました。
	【T】キー	【作図】-【文字】-【点配置】モードで、【文字】ボタンにより表示される【文字入力】ダイアログを自動起動し、文字の作図を可能にしました。
	【M】キー	【作図】-【寸法】-【二点間寸法】-【水平寸法】-【単体】モードを自動起動し、寸法線の作図を可能にしました。
	【N】キー	【作図】-【寸法】-【二点間寸法】-【垂直寸法】-【単体】モードを自動起動し、寸法線の作図を可能にしました。
	【E】キー	【作図】-【注釈】-【文字注釈】-【放射注釈】-【単体】モードで、【注釈文字】ボタンにより表示される【注釈文字入力】ダイアログを自動起動し、文字注釈の作図を可能にしました。
	【X】キー	【ツール】-【補助点】-【補助点】-【自由点】モードを自動起動し、補助点の作図を可能にしました。
	【D】キー	【ツール】-【補助点】-【補助線】-【自由】モードを自動起動し、補助線の作図を可能にしました。
	【F】キー	【編集】-【角処理】-【面取り】-【幅指定】モードを自動起動し、面取りの作図を可能にしました。
	【R】キー	【編集】-【角処理】-【丸め】モードを自動起動し、丸めの作図を可能にしました。
【Z】キー	【編集】-【角処理】-【トリム】モードを自動起動し、トリムの作図を可能にしました。	
<b>【ヘッダー】および【フッター】を印刷する機能の追加</b>		
【印刷】、【連続印刷】、【縦断図連続印刷】および【構造図連続印刷】コマンドの印刷時に、設定した『ヘッダー』および『フッター』を同時に印刷する機能を追加しました。	『ヘッダー』および『フッター』の設定	<p>【ファイル】-【ヘッダーとフッター】コマンドの【ヘッダー、フッター設定】ダイアログにより、『ヘッダー』および『フッター』の書式(印刷日付・ファイル名・任意文字)、配置位置(左揃え・中央揃え・右揃え、オフセット)、色彩およびフォントを設定可能にしました。</p> <p>設定値は図面単位で管理をするのではなく、CADシステム(ユーザー単位)で管理するものとし、設定値を所定のフォルダに登録(XMLファイル)をし、再起動時も有効にしました。また、再インストールおよびバージョンアップ時も有効にしました。</p>
	印刷機能	【ファイル】-【印刷】により、設定された『ヘッダー』および『フッター』を印刷可能にしました。
<b>CAD製図基準のレイヤテンプレートの追加</b>		
最新のCAD製図基準レイヤテンプレートを追加しました。	農林水産省 平成 17 年 4 月	『ため池改修実施設計』『ほ場整備実施設計』『パイプライン実施設計』『地すべり実施設計』『排水路実施設計』『水路トンネル実施設計』『用水路(開水路)実施設計』『農道実施設計』『農道橋実施設計』『頭首工・ポンプ場』
<b>【ページ・レイヤ編集】コマンドの機能追加</b>		
【レイヤー一覧】および【ページ一覧】ボタンを追加しました。 また、ページ一覧時に【属性変更】、【要素削除】および【ページ削除】ボタンを追加し、ページの属性情報の変更、ページ内の全ての要素の削除およびページの削除を行う機能を追加しました。	一覧表示操作	ページ一覧時に【レイヤー一覧】ボタン、レイヤー一覧時に【ページ一覧】ボタンを追加し、それぞれの一覧表示操作を簡略化しました。
	属性変更機能	ページ一覧時に【属性変更】ボタンを指定し、変更したいページを選択することにより、表示される【ページ属性変更】ダイアログにより、【ページ名称】、【X軸縮尺】、【Y軸縮尺】、【回転角度】、【座標系】およびページ内の【レイヤタイプ】を変更可能にしました。
	要素削除機能	ページ一覧時に【要素削除】ボタンを指定し、変更したいページを選択することにより、指定したページ内の全ての要素を削除できるようにしました。
	ページ削除機能	ページ一覧時に【ページ削除】ボタンを指定し、変更したいページを選択することにより、アンドゥバッファを含む要素が存在しない場合に限り指定したページを削除できるようにしました。

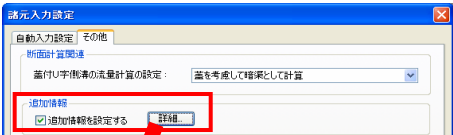
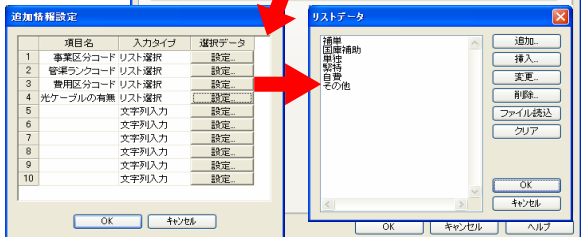
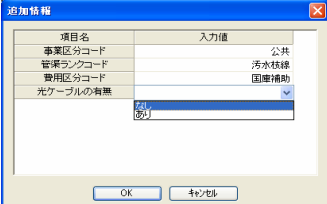
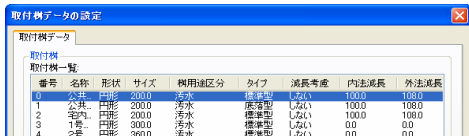
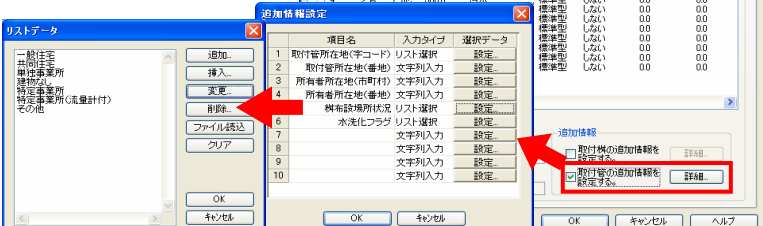
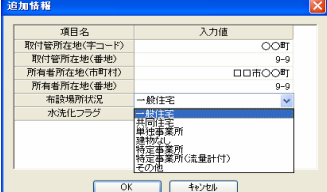

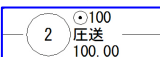


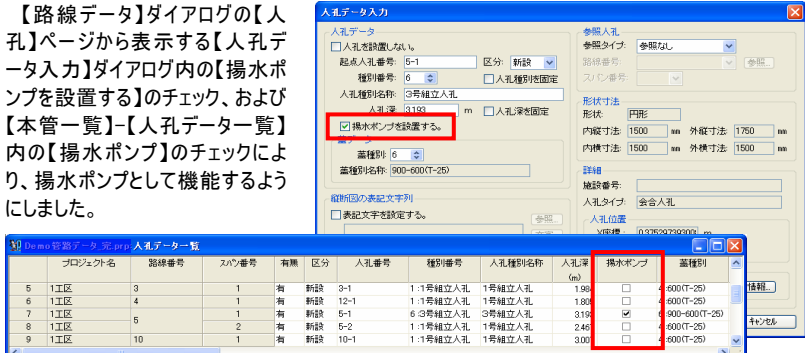
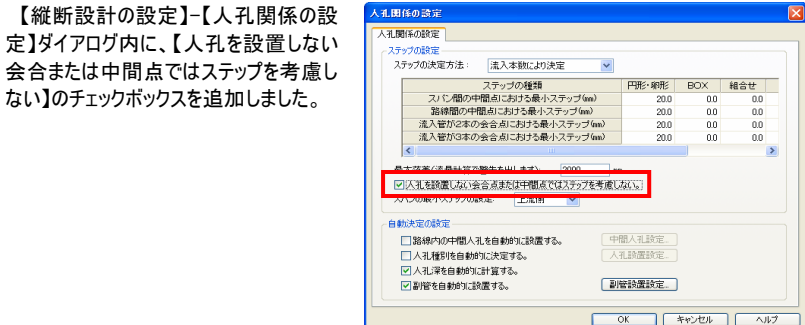
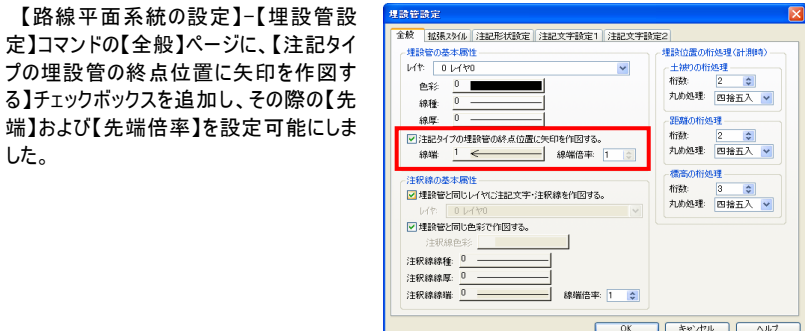
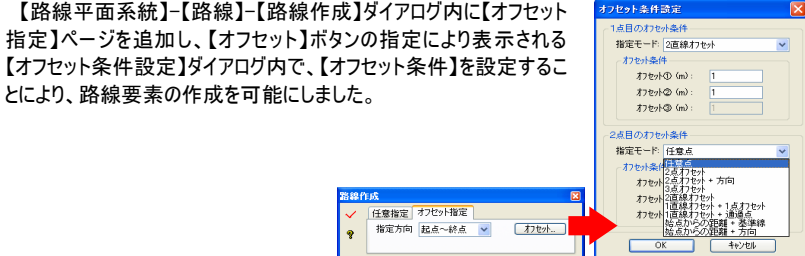
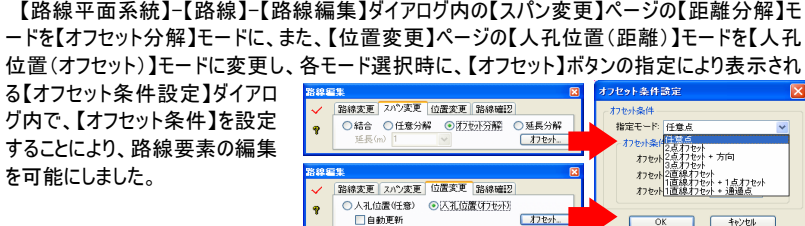


# Rapid シリーズ Ver6.0 追加機能一覧

Civil Rapid Rapid Draw Plus Rapid Draw Pipe Rapid

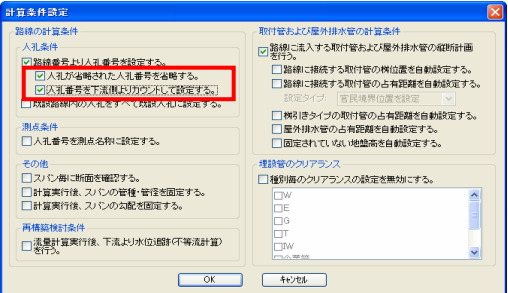
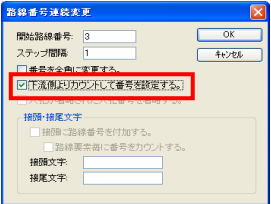
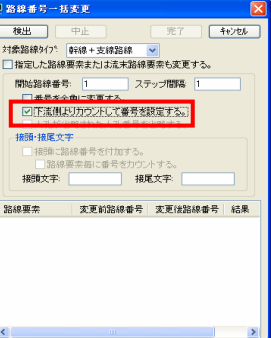
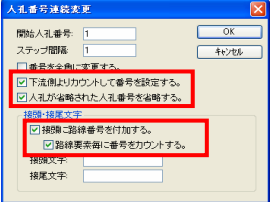
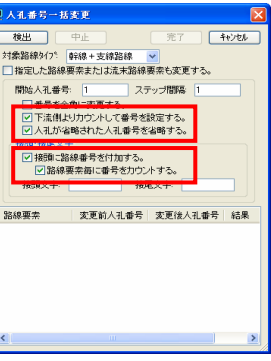
追加機能概要	分類	内容
<b>ターゲット要素の表示処理方法の統一</b>		
<p>ターゲット要素を選択表示する場合の表示倍率(ズーム倍率)の処理仕様を統一しました。</p>	<p>表示処理方法の設定</p>	<p>検出要素または該当要素を一覧などに表示し、その一覧などからターゲット要素を選択表示する場合の表示倍率(ズーム倍率)の処理仕様を、【設定】-【環境設定】-【全般】-【ターゲット要素表示】グループボックス内に統一しました。</p> 
<b>柱状図内数値文字タイプの選択機能の追加</b>		
<p>【柱状図設定】ダイアログ内に【数値文字タイプ】の設定項目を追加し、柱状図内の全ての数値文字に対して作図する文字タイプの【全角】または【半角】を設定し、作図する機能を追加しました。</p>	<p>文字タイプの設定</p>	<p>【ツール】-【柱状図】-【設定】ボタンにより表示される【柱状図設定】ダイアログの【柱状図枠設定】設定項目の【枠タイプ】ページ内に【文字の作図】グループボックスおよび【数値文字タイプ】の設定項目を追加し、柱状図内の全ての数値文字に対して作図する文字タイプの【全角】または【半角】をコンボボックスにより設定可能にしました。</p> 
<p>【柱状図設定】により設定された数値文字タイプ(【全角】または【半角】)により柱状図内の数値の表記文字を作図可能にしました。</p>	<p>作図機能</p>	<p>【柱状図設定】により設定された数値文字タイプ(【全角】または【半角】)により柱状図内の数値の表記文字を作図可能にしました。</p>
<b>横断面図内数値文字タイプの選択機能の追加</b>		
<p>【横断面図設定】ダイアログ内に【数値文字タイプ】の設定項目を追加し、横断面図内の全ての数値文字に対して作図する文字タイプの【全角】または【半角】を設定し、作図する機能を追加しました。</p>	<p>文字タイプの設定</p>	<p>【ツール】-【横断面図】-【設定】ボタンにより表示される【横断面図設定】ダイアログの【全般】ページ内に【文字の作図】グループボックスおよび【数値文字タイプ】の設定項目を追加し、横断面図内の全ての数値文字に対して作図する文字タイプの【全角】または【半角】をコンボボックスにより設定可能にしました。</p> 
<p>【横断面図設定】により設定された数値文字タイプ(【全角】または【半角】)により横断面図内の数値の表記文字を作図可能にしました。</p>	<p>作図機能</p>	<p>【横断面図設定】により設定された数値文字タイプ(【全角】または【半角】)により横断面図内の数値の表記文字を作図可能にしました。</p>
<b>【点検出設定】の機能追加</b>		
<p>【点検出設定】に『用紙端点』を追加しました。</p>	<p>検出点の設定</p>	<p>【設定】-【点検出設定】ダイアログ内【自動スナップ】ページにおいて、自動スナップの検出点項目として『用紙端点』を追加し、図面用紙枠でのスナップができるようになりました。</p> 
<p>【点検出設定】により設定された数値文字タイプ(【全角】または【半角】)により横断面図内の数値の表記文字を作図可能にしました。</p>	<p>作図機能</p>	<p>【点検出設定】により設定された数値文字タイプ(【全角】または【半角】)により横断面図内の数値の表記文字を作図可能にしました。</p>
<b>図面間における【設定エクスポート】機能の追加 ※Civil Rapid Rapid Draw Plus Rapid Draw の機能追加 (Pipe Rapid は対象外)</b>		
<p>基本属性・線端の設定や寸法・注釈管理の設定を、現在開いている他の図面に対して反映できる機能を追加しました。</p>	<p>設定エクスポート機能</p>	<p>【設定】-【設定エクスポート】ダイアログ内の【エクスポート設定項目】の基本属性・線端の設定や寸法・注釈管理の設定をチェックの有無により、現在開いている図面のうち、アクティブな図面から他の図面にエクスポートし、設定を反映させる機能を追加しました。</p> 

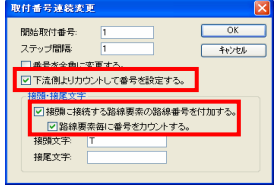
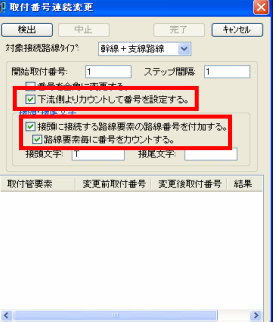
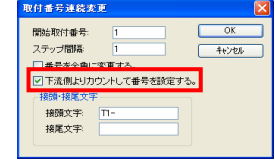
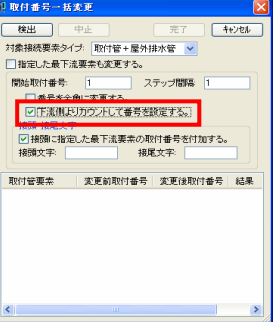
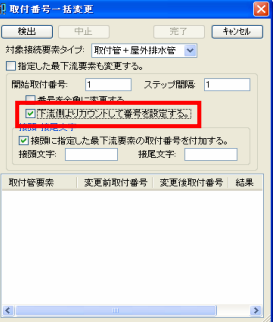
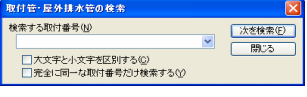
追加機能概要	分類	内容
<b>スパンに【追加情報】機能の追加</b>		
<p>スパンに人孔および取付樹と同様な【追加情報】を設定できる機能を追加しました。</p>	<p>追加情報の設定</p>	<p>【縦断設計の設定】-【管諸元の設定】-【設定】-【管種の設定】-【自動入力設定】により表示される【諸元入力設定】ダイアログ内の【その他】ページに、【追加情報を設定する】チェックボックスと、【詳細】ボタンを指定することにより、スパンの各種追加情報を設定できるようにしました。</p>  
	<p>追加情報の作成</p>	<p>【路線データ】ダイアログの【工区】ページ内、および【本管一覧】-【工区一覧】内に追加した【追加情報】ボタンを指定することにより表示される【追加情報】ダイアログにより、該当スパンの追加情報を入力できるようにしました。</p> 
<b>取付管に【追加情報】機能の追加</b>		
<p>取付管に人孔および取付樹と同様な【追加情報】を設定できる機能を追加しました。</p>	<p>追加情報の設定</p>	<p>【縦断設計の設定】-【取付樹データの設定】ダイアログ内に、【取付管の追加情報を設定する】チェックボックスと、【詳細】ボタンを指定することにより、取付管の各種追加情報を設定できるようにしました。</p>  
	<p>追加情報の作成</p>	<p>【取付管データ】ダイアログの【取付管】ページの【追加情報】グループボックス内、および【取付管一覧】-【取付管情報一覧】内に追加した【追加情報】ボタンを指定することにより表示される【追加情報】ダイアログにより、各種追加情報を入力できるようにしました。</p> 
<b>圧送区間の勾配文字の任意表記機能の追加</b>		
<p>路線の流下方法が『圧送』に設定されている場合、路線形状の勾配を各図面に作図する表記方法を設定できる機能を追加しました。</p>	<p>勾配表記方法の設定</p>	<p>流下方法が『圧送』に設定されている路線についての勾配の表記方法を、【縦断設計の設定】-【区分関係の設定】ダイアログの【勾配表記】グループボックス内の【圧送区間の勾配表記タイプ】の選択と、【表記文字】の入力により設定できるようにしました。</p> 
<p>作図機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・縦断図</li> <li>・平面図(オプション)</li> <li>・路線横断面</li> </ul>		<p>【圧送区間の勾配表記タイプ】で『勾配をそのまま表記』を選択した場合は、前バージョンと同様に各スパンに設定されている勾配により、縦断図、取付管縦断図、路線平面図および路線横断面図内の勾配表記を行うようにしました。また、『任意文字により表記』を選択した場合は、【表記文字】により設定された表記文字により、縦断図、取付管縦断図、路線平面図および路線横断面図内の勾配表記を行うようにしました。</p> 

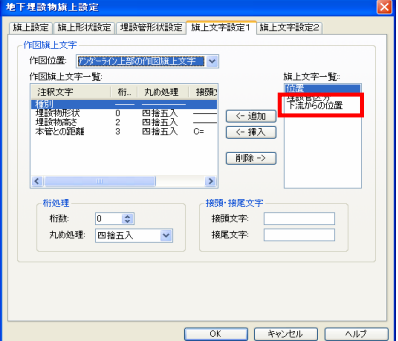
追加機能概要	分類	内容
<b>人孔に揚水ポンプ機能を追加</b>		
<p>【流量計算】コマンドによる処理の実行時に、人孔にポンプアップ(揚水ポンプ)が設定された場合、設定された人孔の直下流のスパンの管渠の縦断計画のみを起点路線の1スパン目の縦断計画と同様な処理を行うことが出来る機能を追加しました。</p>	<p>揚水ポンプ機能</p>	<p>【路線データ】ダイアログの【人孔】ページから表示する【人孔データ入力】ダイアログ内の【揚水ポンプを設置する】のチェック、および【本管一覧】-【人孔データ一覧】内の【揚水ポンプ】のチェックにより、揚水ポンプとして機能するようにしました。</p> 
<b>会合・中間人孔位置でのステップの処理機能の追加</b>		
<p>人孔を設置しない会合または中間点での縦断計画で、ステップを0に固定する機能を追加しました。</p>	<p>ステップ処理の設定</p>	<p>【縦断設計の設定】-【人孔関係の設定】ダイアログ内に、【人孔を設置しない会合または中間点ではステップを考慮しない】のチェックボックスを追加しました。</p> 
<p>縦断計算機能</p>	<p>縦断計算機能</p>	<p>【人孔を設置しない会合または中間点ではステップを考慮しない】にチェックを入れた場合は、人孔を設置しない箇所では、流量計算時にその会合または中間点ではステップを0に固定するようにしました。</p>
<b>埋設管(注記タイプ)作成方向の矢印表示機能の追加 ※要【路線平面系統作成システム(オプション)】</b>		
<p>平面図において、注記タイプ(注記表記・注釈表記)の埋設管要素を描画する際に、作成方向(始点から終点方向)を確認する事が出来るように、終点に矢印を描画する機能を追加しました。</p>	<p>平面図の設定</p>	<p>【路線平面系統の設定】-【埋設管設定】コマンドの【全般】ページに、【注記タイプの埋設管の終点位置に矢印を作図する】チェックボックスを追加し、その際の【先端】および【先端倍率】を設定可能にしました。</p> 
<p>平面図の表示</p>	<p>平面図の表示</p>	<p>【注記タイプの埋設管の終点位置に矢印を作図する】にチェックを入れた場合は、【先端】および【先端倍率】の設定に基づき、平面図内の埋設管の作成方向(始点から終点方向)を確認する事が出来るように、終点に矢印の描画を可能にしました。</p>
<b>路線平面要素作成・編集時におけるオフセット機能の追加 ※要【路線平面系統作成システム(オプション)】</b>		
<p>平面図上で、路線作成および路線編集時におけるオフセット機能を追加した</p>	<p>路線作成機能</p>	<p>【路線平面系統】-【路線】-【路線作成】ダイアログ内に【オフセット指定】ページを追加し、【オフセット】ボタンの指定により表示される【オフセット条件設定】ダイアログ内で、【オフセット条件】を設定することにより、路線要素の作成を可能にしました。</p> 
<p>路線編集機能</p>	<p>路線編集機能</p>	<p>【路線平面系統】-【路線】-【路線編集】ダイアログ内の【スパン変更】ページの【距離分解】モードを【オフセット分解】モードに、また、【位置変更】ページの【人孔位置(距離)】モードを【人孔位置(オフセット)】モードに変更し、各モード選択時に、【オフセット】ボタンの指定により表示される【オフセット条件設定】ダイアログ内で、【オフセット条件】を設定することにより、路線要素の編集を可能にしました。</p> 

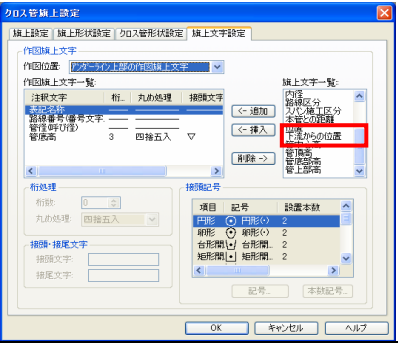
追加機能概要	分類	内容
<p>平面図上で、地区外路線作成および地区外路線編集集時におけるオフセット機能を追加しました。</p>	<p>地区外路線作成機能</p>	<p>【路線平面系統】-【路線】-【地区外路線作成】ダイアログ内の各モード選択時に、追加した【オフセット】ボタンにより表示される【オフセット条件設定】ダイアログ内の設定により、地区外路線要素の作成を可能にしました。</p>  
	<p>地区外路線編集機能</p>	<p>【路線平面系統】-【路線】-【地区外路線編集】ダイアログ内の【地区外路線変更】ページの【変更】モード選択時に、【オフセット】ボタンにより表示される【オフセット条件設定】ダイアログ内の設定により、地区外路線要素の編集を可能にしました。</p>  
<p>平面図上で、流末路線作成および流末路線編集集時におけるオフセット機能を追加しました。</p>	<p>流末路線作成機能</p>	<p>【路線平面系統】-【路線】-【流末路線作成】ダイアログ内の各モード選択時に、追加した【オフセット】ボタンにより表示される【オフセット条件設定】ダイアログ内の設定により、流末路線要素の作成を可能にしました。</p>  
<p></p>	<p>流末路線編集機能</p>	<p>【路線平面系統】-【路線】-【流末路線編集】ダイアログ内の【流末路線変更】ページの【変更】モード選択時に、【オフセット】ボタンにより表示される【オフセット条件設定】ダイアログ内の設定により、流末路線要素の編集を可能にしました。</p>  
<p>平面図上で、取付管作成および取付管編集集時におけるオフセット機能を追加しました。</p>	<p>取付管作成機能</p>	<p>【路線平面系統】-【取付管(路線接続)】-【取付管作成】ダイアログ内の【位置指定】モード選択時に、追加した【オフセット】ボタンにより表示される【オフセット条件設定】ダイアログ内の設定により、取付管要素の作成を可能にしました。</p>  
<p></p>	<p>取付管編集機能</p>	<p>【路線平面系統】-【取付管(路線接続)】-【取付管編集】ダイアログ内の【柵位置変更】ページの【位置変更】モード選択時に、【オフセット】ボタンにより表示される【オフセット条件設定】ダイアログ内の設定により、取付管要素の編集を可能にしました。</p>  
<p>平面図上で、埋設管作成および埋設管編集集時におけるオフセット機能を追加しました。</p>	<p>埋設管作成機能</p>	<p>【路線平面系統】-【埋設管】-【埋設管作成】ダイアログ内の【オフセット】モード選択時に、追加した【オフセット】ボタンにより表示される【オフセット条件設定】ダイアログ内の設定により、埋設管要素の作成を可能にしました。</p>  
<p></p>	<p>埋設管編集機能</p>	<p>【路線平面系統】-【埋設管】-【埋設管編集】ダイアログ内の【埋設管変更】ページの【追加】および【変更】モード選択時に、【オフセット】ボタンにより表示される【オフセット条件設定】ダイアログ内の設定により、埋設管要素の編集を可能にしました。</p>  
<p>平面図上で、標高点作成および標高点編集集時におけるオフセット機能を追加しました。</p>	<p>標高点作成機能</p>	<p>【路線平面系統】-【標高点】-【標高点作成】ダイアログ内の【オフセット指定】モード選択時に、追加した【オフセット】ボタンにより表示される【オフセット条件設定】ダイアログ内の設定により、標高点要素の作成を可能にしました。</p>  
<p></p>	<p>標高点編集機能</p>	<p>【路線平面系統】-【標高点】-【標高点編集】ダイアログ内の【位置変更】ページの【位置変更】モード選択時に、【オフセット】ボタンの指定により表示される【オフセット条件設定】ダイアログ内の設定により、標高点要素の編集を可能にしました。</p>  



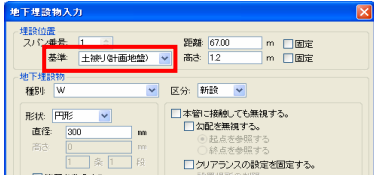
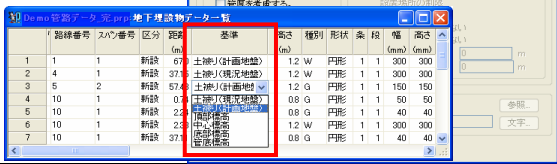
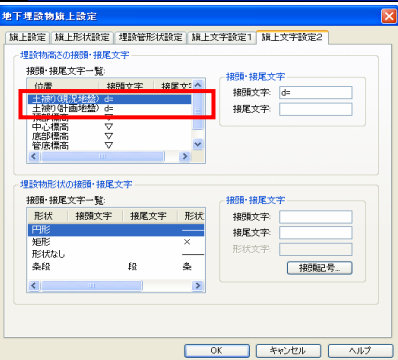
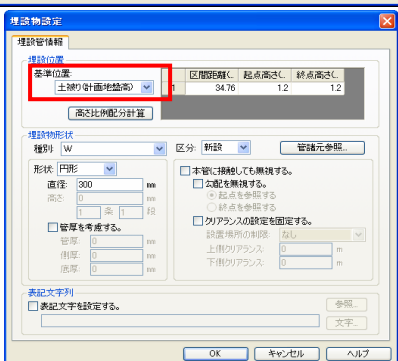
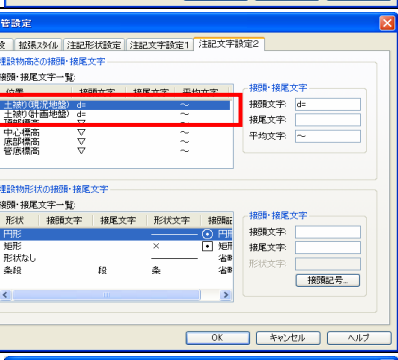
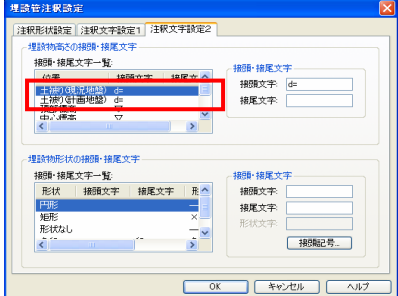
追加機能概要	分類	内容
<b>人孔番号自動付加の機能追加(流量計算時)</b>		
<p>流量計算時に人孔番号を連続で自動付加する場合、下流から人孔番号をカウントする機能を追加しました。</p> <p>また、【人孔を設置しない】にチェックを入れている人孔の人孔番号の付加を省略し、カウントしない機能を追加しました。</p>	<p>流量計算時の計算条件設定</p>	<p>流量計算時の【計算条件設定】ダイアログ内の【路線番号より人孔番号を設定する】チェックボックスの下層に、【人孔が省略された人孔番号を省略する】チェックボックス、および【人孔番号を下流側よりカウントして設定する】チェックボックスを追加しました。</p> 
	<p>人孔番号付加機能</p>	<p>【人孔が省略された人孔番号を省略する】にチェックを入れた場合は、人孔を設置しない箇所では、流量計算時にその人孔の番号付加を省略し、カウントもスキップするようになりました。</p> <p>【人孔番号を下流側よりカウントして設定する】にチェックを入れた場合は、流量計算時に人孔番号のカウントを路線の下流から行い、人孔番号を付加するようになりました。</p>
<b>路線番号・人孔番号変更の機能追加(平面図作成時) ※要[路線平面システム作成システム(オプション)]</b>		
<p>平面図上で、路線番号・人孔番号を連続で自動変更する場合、下流から路線番号・人孔番号をカウントする機能を追加しました。</p> <p>また、【人孔を設置しない】にチェックを入れている人孔の人孔番号の付加を省略し、カウントしない機能を追加しました。</p> <p>人孔番号変更の場合は、所属する路線要素に設定されている路線番号を先頭に接頭文字として変更する機能を追加しました。</p>	<p>路線番号連続変更機能</p>	<p>【路線平面システム】-【路線】-【路線番号編集】コマンドの【番号変更】ページの【連続変更】モードにおいて、【変更タイプ】で『路線番号』を選択し、路線要素選択後表示される【路線番号連続変更】ダイアログ内に追加した【下流側よりカウントして番号を設定する】にチェックを入れた場合は、指定した2路線間の路線に対して、路線番号のカウントを下流から行い変更するようになりました。</p> 
	<p>路線番号一括変更機能</p>	<p>【路線平面システム】-【路線】-【路線番号編集】コマンドの【番号変更】ページの【一括変更】モードにおいて、【変更タイプ】で『路線番号』を選択し、路線要素選択後表示される【路線番号一括変更】ダイアログ内に追加した【下流側よりカウントして番号を設定する】にチェックを入れた場合は、指定した系統内の路線に対して、路線番号のカウントを下流から行い変更するようになりました。</p> 
	<p>人孔番号連続変更機能</p>	<p>【路線平面システム】-【路線】-【路線番号編集】コマンドの【番号変更】ページの【連続変更】モードにおいて、【変更タイプ】で『人孔番号』を選択し、路線要素選択後表示される【人孔番号連続変更】ダイアログ内に追加した【下流側よりカウントして番号を設定する】にチェックを入れた場合は、指定した2路線間の路線に対して、人孔番号のカウントを下流から行い変更するようになりました。</p> <p>追加した【人孔が省略された人孔番号を省略する】にチェックを入れた場合は、人孔を設置しない箇所では、その人孔の番号付加を省略し、カウントもスキップするようになりました。</p> <p>追加した【接頭に路線番号を付加する】にチェックを入れた場合は、所属する路線番号を先頭に接頭文字として付加する機能を追加しました。また、その下層に追加した【路線要素毎に番号をカウントする】のチェックの有無により、指定した2要素間で番号をカウントするか、路線要素毎でカウントするかを設定できるようになりました。</p> 
	<p>人孔番号一括変更機能</p>	<p>【路線平面システム】-【路線】-【路線番号編集】コマンドの【番号変更】ページの【一括変更】モードにおいて、【変更タイプ】で『人孔番号』を選択し、路線要素選択後表示される【人孔番号一括変更】ダイアログ内に追加した【下流側よりカウントして番号を設定する】にチェックを入れた場合は、指定した系統内の路線に対して、人孔番号のカウントを下流から行い変更するようになりました。</p> <p>追加した【人孔が省略された人孔番号を省略する】にチェックを入れた場合は、人孔を設置しない箇所では、その人孔の番号付加を省略し、カウントもスキップするようになりました。</p> <p>追加した【接頭に路線番号を付加する】にチェックを入れた場合は、所属する路線番号を先頭に接頭文字として付加する機能を追加しました。また、その下層に追加した【路線要素毎に番号をカウントする】のチェックの有無により、指定した系統内で番号をカウントするか、路線要素毎でカウントするかを設定できるようになりました。</p> 

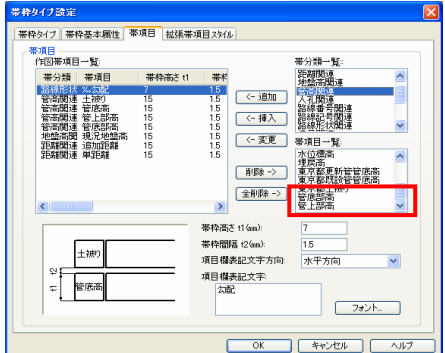
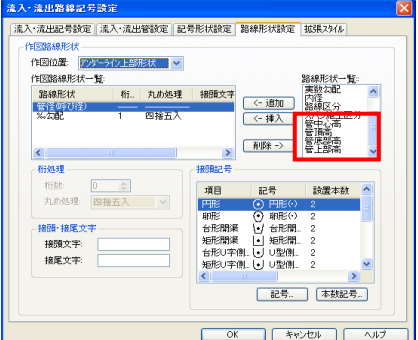
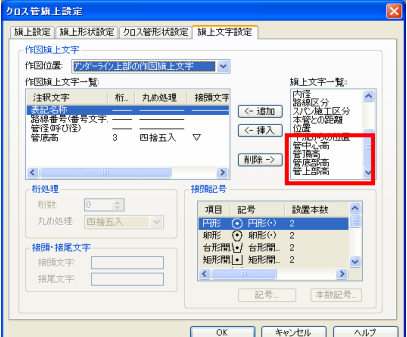
追加機能概要	分類	内容
<b>取付管要素の番号変更の機能追加(平面図作成時) ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]</b>		
<p>平面図上で、取付管要素の番号を連続で自動変更する場合、下流から番号をカウントする機能を追加しました。</p> <p>また、所属する路線要素に設定されている路線番号を接頭文字として変更する機能を追加しました。</p>	<p>取付管要素の番号連続変更機能</p>	<p>【路線平面系統】-【取付管(路線接続)】-【取付管番号編集】コマンドの【樹番号変更】ページの【連続変更】モードにおいて、【変更タイプ】で『樹名称』『樹番号』『取付管番号』『取付番号』を選択し、路線要素選択後表示される各【連続変更】ダイアログ内に追加した【下流側よりカウントして番号を設定する】にチェックを入れた場合は、指定した2路線間の路線に対して、取付管要素の番号のカウントを下流から行い変更するようにしました。</p> <p>追加した【接頭に接続する路線要素の路線番号を付加する】にチェックを入れた場合は、所属する路線番号を接頭文字として付加する機能を追加しました。また、その下層に追加した【路線要素毎に番号をカウントする】のチェックの有無により、指定した2要素間で番号をカウントするか、路線要素毎でカウントするかを設定できるようにしました。</p> 
	<p>取付管要素の番号一括変更機能</p>	<p>【路線平面系統】-【取付管(路線接続)】-【取付管番号編集】コマンドの【樹番号変更】ページの【一括変更】モードにおいて、【変更タイプ】で『樹名称』『樹番号』『取付管番号』『取付番号』を選択し、路線要素選択後表示される各【一括変更】ダイアログ内に追加した【下流側よりカウントして番号を設定する】にチェックを入れた場合は、指定した系統内の路線に対して、取付管要素の番号のカウントを下流から行い変更するようにしました。</p> <p>追加した【接頭に接続する路線要素の路線番号を付加する】にチェックを入れた場合は、所属する路線番号を接頭文字として付加する機能を追加しました。また、その下層に追加した【路線要素毎に番号をカウントする】のチェックの有無により、指定した系統内で番号をカウントするか、路線要素毎でカウントするかを設定できるようにしました。</p> 
<b>屋外排水管要素の番号変更の機能追加(平面図作成時) ※要[屋外排水設備システム(オプション)]</b>		
<p>平面図上で、屋外排水管および取付管要素の番号を連続で自動変更する場合、下流から番号をカウントする機能を追加しました。</p>	<p>屋外排水管および取付管要素の番号連続変更機能</p>	<p>【屋外排水設備】-【屋外排水設備番号編集】コマンドの【樹番号変更】ページの【連続変更】モードにおいて、【変更タイプ】で『樹名称』『樹番号』『取付管番号』『取付番号』を選択し、屋外排水管および取付管要素選択後表示される各【連続変更】ダイアログ内に追加した【下流側よりカウントして番号を設定する】にチェックを入れた場合は、指定した2要素間の屋外排水管および取付管要素に対して、番号のカウントを下流から行い変更するようにしました。</p> 
	<p>屋外排水管および取付管要素の番号一括変更機能</p>	<p>【屋外排水設備】-【屋外排水設備番号編集】コマンドの【樹番号変更】ページの【一括変更】モードにおいて、【変更タイプ】で『樹名称』『樹番号』『取付管番号』『取付番号』を選択し、屋外排水管および取付管要素選択後表示される各【一括変更】ダイアログ内に追加した【下流側よりカウントして番号を設定する】にチェックを入れた場合は、指定した系統内の屋外排水管および取付管要素に対して、番号のカウントを下流から行い変更するようにしました。</p> 
	<p>屋外排水管および取付管要素の番号枠内変更機能</p>	<p>【屋外排水設備】-【屋外排水設備番号編集】コマンドの【樹番号変更】ページの【枠内変更】モードにおいて、【変更タイプ】で『樹名称』『樹番号』『取付管番号』『取付番号』を選択し、枠指定による屋外排水管および取付管要素選択後表示される各【一括変更】ダイアログ内に追加した【下流側よりカウントして番号を設定する】にチェックを入れた場合は、指定した複数系統内の屋外排水管および取付管要素に対して、番号のカウントを下流から行い変更するようにしました。</p> 
<b>取付管検索機能の追加 ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]</b>		
<p>取付管および屋外排水管を対象要素とした取付管検索機能を追加しました。</p>	<p>取付管検索機能</p>	<p>【路線平面系統】-【取付管検索】コマンドにより表示される【取付管・屋外排水管の検索】ダイアログで、取付管要素および屋外排水管要素の取付番号によるターゲット要素表示を可能にしました。</p> 

追加機能概要	分類	内容
<b>取付管・屋外排水管の地盤高自動付加機能の追加(流量計算時) ※屋外排水管の地盤高付加には要[屋外排水設備システム(オプション)]</b>		
<p>【流量計算実行】コマンド、または【取付管縦断計画実行】コマンドにより、取付管および屋外排水管の縦断計画を行う場合、固定されていない樹の現況地盤高および計画地盤高を自動設定する機能を追加しました。</p>	<p>流量計算時の計算条件設定</p>	<p>流量計算時の【計算条件設定】ダイアログ内に、【固定されていない地盤高を自動設定する】チェックボックスを追加しました。</p> 
	<p>取付管縦断計画実行の計算条件設定</p>	<p>取付管縦断計画実行時の【計算条件設定】ダイアログ内に、【固定されていない地盤高を自動設定する】チェックボックスを追加しました。</p> 
	<p>地盤高付加機能</p>	<p>【固定されていない地盤高を自動設定する】にチェックを入れた場合は、取付管および屋外排水管の縦断計画を行う前処理として、固定されていない樹の現況地盤高および計画地盤高を自動設定できるようにしました。</p> <p>【接続タイプ】が『路線』の取付管の場合は、路線接続位置(取付管の終点位置)の各地盤高を固定されていない樹の各地盤高に自動設定されるようになりました。</p> <p>【接続タイプ】が『直接放流』の取付管の場合は、取付管の終点位置の各地盤高を固定されていない樹の現況地盤高および計画地盤高に自動設定されるようになりました。</p> <p>【接続タイプ】が『樹引き』の取付管の場合は、下流(終点位置)の取付管の樹に設定されている各地盤高を固定されていない樹の各地盤高に自動設定されるようになりました。</p> <p>屋外排水管の場合は、下流(終点位置)の取付管または屋外排水管の樹に設定されている各地盤高を固定されていない樹の各地盤高に自動設定されるようになりました。</p>
<b>下流人孔からの位置表記(縦断図旗上文字)の機能追加</b>		
<p>本管の地盤変化点の位置に対して、縦断図上で、下流人孔からの位置が表記できる旗上文字の機能を追加しました。</p>	<p>縦断図の設定</p>	<p>【縦断図の設定】-【地盤変化点旗上設定】の【旗上文字設定】ページの【旗上文字一覧】リストに『下流からの位置』を追加しました。</p> 
	<p>縦断図作図機能</p>	<p>『位置』の場合は上流人孔からの地盤変化点の位置を、『下流からの位置』の場合は下流人孔からの地盤変化点の位置を作図可能にしました。</p>
<p>本管と地下埋設物の交差位置に対して、縦断図上で、下流人孔からの位置が表記できる旗上文字の機能を追加しました。</p>	<p>縦断図の設定</p>	<p>【縦断図の設定】-【地下埋設物旗上設定】の【旗上文字設定 1】ページの【旗上文字一覧】リストに『下流からの位置』を追加しました。</p> 
	<p>縦断図作図機能</p>	<p>『位置』の場合は上流人孔からの地下埋設物の交差位置を、『下流からの位置』の場合は下流人孔からの地下埋設物の交差位置を作図可能にしました。</p>

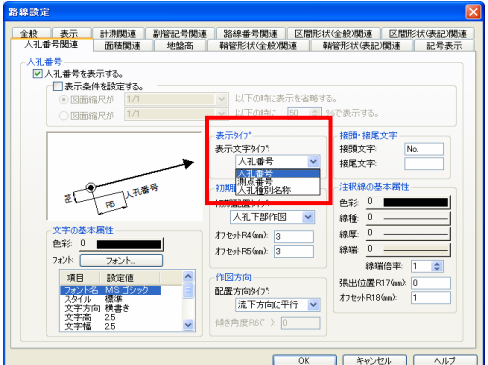
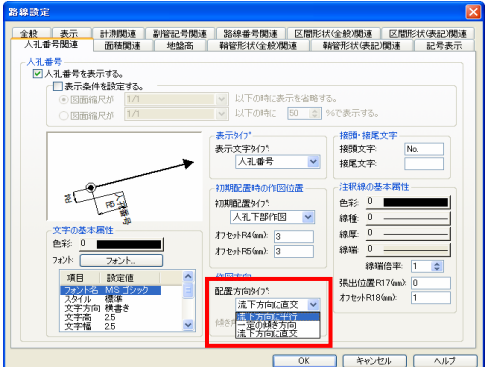
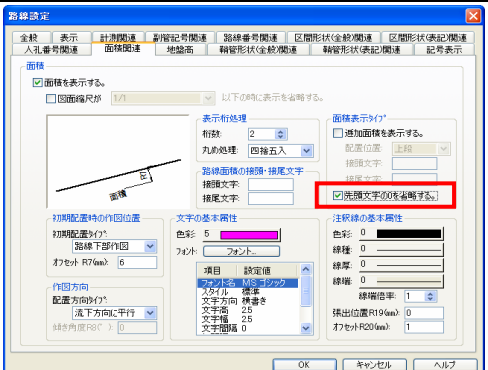
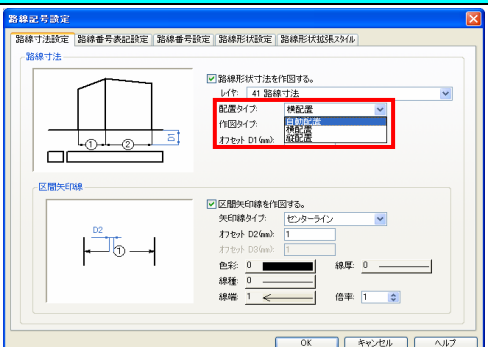
追加機能概要	分類	内容
<p>本管の表記旗上の位置に対して、縦断面図上で、下流人孔からの位置が表記できる旗上文字の機能を追加しました。</p>	<p>縦断面図の設定</p>	<p>【縦断面図の設定】-【表記旗上設定】の【旗上文字設定】ページの【旗上文字一覧】リストに『下流からの位置』を追加しました。</p> 
<p>本管の取付管接続位置に対して、縦断面図上で、下流人孔からの位置が表記できる旗上文字の機能を追加しました。</p>	<p>縦断面図の設定</p>	<p>【縦断面図の設定】-【取付管旗上設定】の【旗上文字設定】ページの【旗上文字一覧】リストに『下流からの位置』を追加しました。</p> 
<p>本管とクロス管の交差位置に対して、縦断面図上で、下流人孔からの位置が表記できる旗上文字の機能を追加しました。</p>	<p>縦断面図の設定</p>	<p>【縦断面図の設定】-【クロス管旗上設定】の【旗上文字設定】ページの【旗上文字一覧】リストに『下流からの位置』を追加しました。</p> 
<p>取付管の地盤変化点の位置に対して、縦断面図上で、下流樹または路線接続位置からの位置（終点からの位置）が表記できる旗上文字の機能を追加しました。</p>	<p>取付管縦断面図の設定</p>	<p>【取付管縦断面図の設定】-【取付管地盤変化点旗上設定】の【旗上文字設定】ページの【旗上文字一覧】リストに『下流からの位置』を追加しました。</p> 
<p>取付管と地下埋設物の交差位置に対して、縦断面図上で、下流樹または路線接続位置からの位置（終点からの位置）が表記できる旗上文字の機能を追加しました。</p>	<p>取付管縦断面図の設定</p>	<p>【取付管縦断面図の設定】-【取付管地下埋設物旗上設定】の【旗上文字設定 1】ページの【旗上文字一覧】リストに『下流からの位置』を追加しました。</p> 
<p>取付管縦断面図機能</p>	<p>取付管縦断面図機能</p>	<p>『位置』の場合は上流樹からの地下埋設物の交差位置を、『下流からの位置』の場合は下流樹または路線接続位置からの地下埋設物の交差位置（終点からの位置）を作図可能にしました。</p>



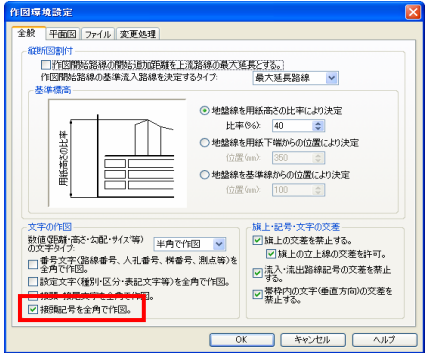
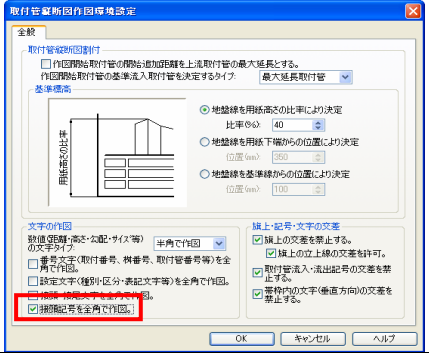
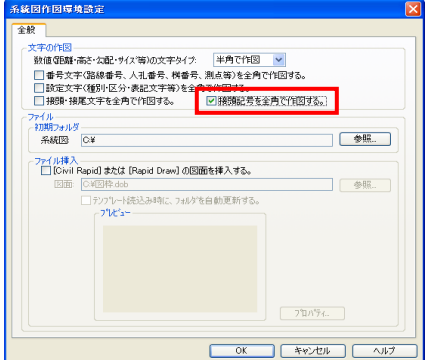
追加機能概要	分類	内容
埋設管の土被り基準地盤としての『計画地盤』の追加 ※平面図・路線横断面図作成には要〔路線平面系統作成システム(オプション)〕		
<p>埋設管を作成する場合の【基準位置】に『土被り(計画地盤)』を追加し、埋設管の位置を計画地盤高より決定できるようにしました。</p>	<p>地下埋設物データの入力</p>	<p>【路線データ】ダイアログや【取付管データ】ダイアログの【地下埋設物】ページから表示する【地下埋設物入力】ダイアログ内の【基準】リスト内、および【本管一覧】や【取付管一覧】の【地下埋設物データ一覧】内の【基準】リスト内に『土被り(計画地盤)』を追加しました。</p> <p>また、これに伴い同リスト内の『土被り(現況地盤)』を『土被り(計画地盤)』に変更しました。</p>  
<p>縦断面図の設定 取付管縦断面図の設定</p>	<p>縦断面図の設定</p>	<p>【縦断面図の設定】-【地下埋設物旗上設定】、および【取付管縦断面図の設定】-【取付管地下埋設物旗上設定】コマンドの【旗上文字設定 2】ページの【埋設管高さの接頭・接尾文字】リスト内に『土被り(計画地盤)』を追加しました。</p> <p>また、これに伴い同リスト内の『土被り(現況地盤)』を『土被り(計画地盤)』に変更しました。</p> 
<p>平面図地下埋設物データの入力</p>	<p>平面図地下埋設物データの入力</p>	<p>【路線平面系統】-【埋設管】-【埋設管作成】および【埋設管編集】-【埋設管確認】ページの【埋設管情報変更】モードにより表示される【埋設物設定】ダイアログ内の【基準位置】リスト内に『土被り(計画地盤)』を追加しました。</p> <p>また、これに伴い同リスト内の『土被り(現況地盤)』を『土被り(計画地盤)』に変更しました。</p> 
<p>平面図の設定</p>	<p>平面図の設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【埋設管設定】コマンドの【注記文字設定 2】ページ内、および【路線平面系統図の設定】-【埋設管注釈設定】コマンドの【注釈文字設定 2】ページの【埋設管高さの接頭・接尾文字】リスト内に『土被り(計画地盤)』を追加しました。</p> <p>また、これに伴い同リスト内の『土被り(現況地盤)』を『土被り(計画地盤)』に変更しました。</p> 
<p>路線横断面図の設定</p>	<p>路線横断面図の設定</p>	<p>【路線横断面図の設定】-【管路横断面関連設定】コマンドの【注釈関連設定】ページ内の【埋設管の注釈】グループボックス内【形状】ボタンを指定することにより表示される【埋設管注釈設定】ダイアログ内の【注釈文字設定 2】ページの【埋設管高さの接頭・接尾文字】リスト内に、『土被り(計画地盤)』を追加しました。</p> <p>また、これに伴い同リスト内の『土被り(現況地盤)』を『土被り(計画地盤)』に変更しました。</p> 

追加機能概要	分類	内容
<b>作図可能な管高関連種類の追加 ※平面図・路線横断面図作成には要[路線平面系統作成システム(オプション)]</b>		
<p>縦断面図において、縦断面図帯に作図する管高関連に『管底部高』および『管上部高』の表記機能を追加しました。</p>	<p>縦断面図の設定</p>	<p>【縦断面図の設定】-【帯枠タイプ設定】の【帯項目】ページの【管高関連】帯分類の【帯項目一覧】リストに、帯項目として『管底部高』および『管上部高』を追加しました。</p> 
	<p>縦断面図作図機能</p>	<p>『管底部高』の場合は、管外径の下部標高を路線形状として作図可能にしました。 『管上部高』の場合は、管外径の上部標高を路線形状として作図可能にしました。</p>
<p>縦断面図において、流入・流出路線記号の作図路線形状に『管中心高』、『管頂高』、『管底部高』および『管上部高』の表記機能を追加しました。</p>	<p>縦断面図の設定</p>	<p>【縦断面図の設定】-【流入・流出路線記号設定】の【路線形状設定】ページの【路線形状一覧】リストに、路線形状の表記文字として『管中心高』、『管頂高』、『管底部高』および『管上部高』を追加しました。</p> 
	<p>縦断面図作図機能</p>	<p>『管中心高』の場合は、管の中心高を路線形状として作図可能にしました。 『管頂高』の場合は、管内径の上部標高を路線形状として作図可能にしました。 『管底部高』の場合は、管外径の下部標高を路線形状として作図可能にしました。 『管上部高』の場合は、管外径の上部標高を路線形状として作図可能にしました。</p>
<p>縦断面図において、交差位置でのクロス管の高さに対して『管中心高』、『管頂高』、『管底部高』および『管上部高』の旗上機能を追加しました。</p>	<p>縦断面図の設定</p>	<p>【縦断面図の設定】-【クロス管旗上設定】の【旗上文字設定】ページの【旗上文字一覧】リストに、『管中心高』、『管頂高』、『管底部高』および『管上部高』を追加しました。</p> 
	<p>縦断面図作図機能</p>	<p>『管中心高』の場合は、管の中心高を路線形状として作図可能にしました。 『管頂高』の場合は、管内径の上部標高を路線形状として作図可能にしました。 『管底部高』の場合は、管外径の下部標高を路線形状として作図可能にしました。 『管上部高』の場合は、管外径の上部標高を路線形状として作図可能にしました。</p>
<p>取付管縦断面図において、縦断面図帯に作図する管高関連に『管底部高』および『管上部高』の表記機能を追加しました。</p>	<p>取付管縦断面図の設定</p>	<p>【取付管縦断面図の設定】-【取付管縦断面図帯枠タイプ設定】の【帯項目】ページの【管高関連】帯分類の【帯項目一覧】リストに、帯項目として『管底部高』および『管上部高』を追加しました。</p> 
	<p>取付管縦断面図作図機能</p>	<p>『管底部高』の場合は、管外径の下部標高を路線形状として作図可能にしました。 『管上部高』の場合は、管外径の上部標高を路線形状として作図可能にしました。</p>

追加機能概要	分類	内容
<p>取付管縦断面図において、流入・流出路線記号の作図路線形状に『管中心高』、『管頂高』、『管底部高』および『管上部高』の表記機能を追加しました。</p>	<p>取付管縦断面図の設定</p>	<p>【取付管縦断面図の設定】-【取付管流入・流出記号設定】の【取付管形状設定】ページの【取付管形状一覧】リストに、路線形状の表記文字として『管中心高』、『管頂高』、『管底部高』および『管上部高』を追加しました。</p> 
	<p>取付管縦断面図作図機能</p>	<p>『管中心高』の場合は、管の中心高を路線形状として作図可能にしました。                  『管頂高』の場合は、管内径の上部標高を路線形状として作図可能にしました。                  『管底部高』の場合は、管外径の下部標高を路線形状として作図可能にしました。                  『管上部高』の場合は、管外径の上部標高を路線形状として作図可能にしました。</p>
<p>平面図において、本管の注釈を行う場合の注釈文字に『管中心高』、『管頂高』、『管底部高』、『管上部高』および『土被り』の表記機能を追加しました。</p>	<p>平面図の設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【本管注釈設定】の【注釈文字設定】ページの【注釈文字一覧】リストに『管中心高』、『管頂高』、『管底部高』、『管上部高』および『土被り』を追加しました。</p> 
	<p>平面図作図機能</p>	<p>『管中心高』の場合は、起点から終点の管中心高を注釈文字として作図可能にしました。                  『管頂高』の場合は、起点から終点の管内径の上部標高を注釈文字として作図可能にしました。                  『管底部高』の場合は、起点から終点の管外径の下部標高を注釈文字として作図可能にしました。                  『管上部高』の場合は、起点から終点の管外径の上部標高を注釈文字として作図可能にしました。                  『土被り』の場合は、起点から終点の管の土被りを注釈文字として作図可能にしました。</p>
<p>路線横断面図において、本管の標高表記に『管底部高』および『管上部高』の表記機能を追加しました。</p>	<p>路線横断面図の設定</p>	<p>【路線横断面図の設定】-【現況横断面関連設定】の【標高表記】ページの【標高表記一覧】リストに『管底部高』および『管上部高』を追加しました。</p> 
	<p>路線横断面図作図機能</p>	<p>『管底部高』の場合は、管外径の下部標高を標高表記として作図可能にしました。                  『管上部高』の場合は、管外径の上部標高を標高表記として作図可能にしました。</p>
<p>路線横断面図において、本管の注釈を行う場合の注釈文字に『管中心高』、『管頂高』、『管底部高』および『管上部高』の表記機能を追加しました。</p>	<p>路線横断面図の設定</p>	<p>【路線横断面図の設定】-【管路横断面関連設定】の【注釈関連設定】ページの【本管の注釈】グループボックス内【形状】ボタンを指定することにより表示される【本管注釈設定】ダイアログ内の【注釈文字設定】ページの【注釈文字一覧】リストに『管中心高』、『管頂高』、『管底部高』および『管上部高』を追加しました。</p> 
	<p>路線横断面図作図機能</p>	<p>『管中心高』の場合は、横断作図位置での管中心高を注釈文字として作図可能にしました。                  『管頂高』の場合は、横断作図位置での管内径の上部標高を注釈文字として作図可能にしました。                  『管底部高』の場合は、横断作図位置での管外径の下部標高を注釈文字として作図可能にしました。                  『管上部高』の場合は、横断作図位置での管外径の上部標高を注釈文字として作図可能にしました。</p>

追加機能概要	分類	内容
<b>人孔番号の表記タイプ・方法の追加 ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]</b>		
<p>平面図において、人孔番号の表記タイプとして『測点番号』および『人孔種別名称』を追加しました。</p>	<p>平面図の設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【路線関連設定】-【路線設定】コマンドの【人孔番号関連】ページに、【表示タイプ】グループボックスおよび人孔位置に表示する表記タイプを『人孔番号』、『測点番号』または『人孔種別名称』から選定できる機能を追加しました。</p> 
	<p>平面図作図機能</p>	<p>【表示文字タイプ】が『測点番号』の場合は、スパンデータに設定されている測点番号を表記し、人孔を設置しない場合でも表記を行うようにしました。                  【表示文字タイプ】が『人孔種別名称』の場合は、人孔データに設定されている人孔種別名称を表記し、人孔を設置しない場合は表記を省略するようにしました。</p>
<p>平面図において、人孔番号の表記方向として『流下方向に直交』を追加しました。</p>	<p>平面図の設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【路線関連設定】-【路線設定】コマンドの【人孔番号関連】ページの、【作図方向】グループボックス内の【配置方向タイプ】リスト項目として、『流下方向に直交』を追加しました。</p> 
	<p>平面図作図機能</p>	<p>【配置方向タイプ】が『流下方向に直交』の場合は、流下方向に対して直交方向に、【表示文字タイプ】により設定した表記文字を作図するようにしました。</p>
<b>路線面積の表記方法の追加 ※要[路線平面系統作成システム(オプション)]</b>		
<p>平面図において、路線要素の面積の表記で1ha未満を表記する場合、先頭の『0』文字を省略し、小数点から表記できる機能を追加しました。</p>	<p>平面図の設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【路線関連設定】-【路線設定】コマンドの【面積関連】ページの、【追加面積】グループボックス名を【面積表示タイプ】に変更し、その中に【先頭文字の0を省略する】のチェックボックスを追加しました。</p> 
	<p>平面図作図機能</p>	<p>【先頭文字の0を省略する】にチェックを入れた場合、1ha未満の路線の面積または追加面積の表示の際に、先頭の『0』文字を省略し、小数点からなる表記文字を表示するようにしました。</p>
<b>縦断図路線形状の配置タイプの追加</b>		
<p>縦断図において、路線形状寸法を作図する場合に、作図範囲(寸法範囲)が狭い場合でも路線形状を全て横配置する機能を追加しました。</p>	<p>縦断図の設定</p>	<p>【縦断図の設定】-【路線記号設定】コマンドの【路線寸法設定】ページ内の、【路線形状をすべて縦配置する】チェックボックスを廃止し、【配置タイプ】リストを新設し、『自動配置』、『横配置』および『縦配置』の3タイプより路線形状の配置タイプを設定するようにしました。</p> 
	<p>縦断図作図機能</p>	<p>【配置タイプ】が『自動配置』の場合は、通常は横配置し、作図範囲が狭い場合は縦配置に路線形状を作図するようにしました。                  【配置タイプ】が『横配置』の場合は、横配置に路線形状を作図するようにしました。                  【配置タイプ】が『縦配置』の場合は、縦配置に路線形状を作図するようにしました。</p>



追加機能概要	分類	内容
<p><b>作図接頭記号タイプの選択機能の追加</b> ※平面図・路線横断面図作成には要【路線平面系統作成システム(オプション)】</p>		
<p>縦断面図において、内径または呼び径を作図する場合の接頭記号の作図を『半角』または『全角』で表記する機能を追加しました。</p>	<p>縦断面図の設定</p>	<p>【縦断面図の設定】-【作図環境設定】コマンドの【全般】ページの【文字の作図】グループボックス内に【接頭記号を全角で作図】チェックボックスを追加しました。</p> 
<p>取付管縦断面図において、内径または呼び径を作図する場合の接頭記号の作図を『半角』または『全角』で表記する機能を追加しました。</p>	<p>取付管縦断面図の設定</p>	<p>【取付管縦断面図の設定】-【取付管縦断面図作図環境設定】コマンドの【全般】ページの【文字の作図】グループボックス内に【接頭記号を全角で作図】チェックボックスを追加しました。</p> 
<p>平面図において、内径または呼び径を作図する場合の接頭記号の作図を『半角』または『全角』で表記する機能を追加しました。</p>	<p>平面図の設定 路線横断面図の設定</p>	<p>【路線平面系統図の設定】-【系統図作図環境設定】コマンドの【全般】ページの【文字の作図】グループボックス内に【接頭記号を全角で作図する】チェックボックスを追加しました。</p> 
<p>平面図作図機能 路線横断面図作図機能</p>	<p>平面図作図機能 路線横断面図作図機能</p>	<p>路線平面図および路線横断面図内に作図する路線、クロス管、取付管および埋設管などの内径および呼び径などの接頭記号について、【接頭記号を全角で作図する】にチェックを入れた場合は『全角』で、チェックを外した場合は『半角』で表記するようにしました。</p>